



法人向けデスクトップPCについて最新の第7世代インテルCoreプロセッサ・ファミリー搭載した「ESPRIMO D587/R」、「ESPRIMO Q556/R」を提供致します。また、マールブルグレイカラー(白)の標準モデル「ESPRIMO Q556/P」を提供致します。

【ここがポイント】

- ・最新の第7世代インテルCore プロセッサ・ファミリーを搭載。
- ・USB3.1(Gen2, Type-C コネクタ) に対応可能(カスタムメイド)※D587/Rのみ。
- ・ESPRIMO Q556/P (マールブルグレイ(白) 国際エネルギースタープログラム対応モデル)を提供。
本モデルは、ESPRIMO Q556/P(黒筐体)モデルをベースに筐体カラーを白色に変更したモデルで、ヘルスケアや24時間対応のモデルはございません。

製品ラインナップ

コンパクト型 Dシリーズ

ハイエンドモデル D957/P 第7世代 CPU

- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル
- ・ヘルスケアモデル
- ・標準モデル

多機能モデル D587/R 第7世代 CPU **New**

- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル
- ・ヘルスケアモデル
- ・24時間モデル
- ・標準モデル

ハイエンドモデル D956/P 第6世代 CPU

- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル
- ・ヘルスケアモデル
- ・標準モデル

多機能モデル D586/P 第6世代 CPU

- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル
- ・ヘルスケアモデル
- ・24時間モデル
- ・標準モデル

・ボリュームライセンス必須モデル有

エントリーモデル D556/P 第6世代 CPU

- ・標準モデル

・ボリュームライセンス必須モデル有

ウルトラスモール型 (Qシリーズ)

ウルトラスモールモデル Q556/P 第6世代 CPU **New**

- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル(白筐体モデル)
- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル(黒筐体モデル)
- ・国際エネルギースタープログラム24時間モデル(黒筐体モデル)

・ボリュームライセンス必須モデル有

ウルトラスモールモデル Q556/R 第7世代 CPU **New**

- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル(白筐体モデル)
- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル(黒筐体モデル)
- ・国際エネルギースタープログラム24時間モデル(黒筐体モデル)

液晶一体型 (Kシリーズ)

液晶一体型スタンダードモデル K556/P 第6世代 CPU

- ・国際エネルギースタープログラム対応モデル[標準]

・ボリュームライセンス必須モデル有

ボリュームライセンス必須モデルについて

ボリュームライセンスモデル必須モデルは、通常のWindows 7 Professional (Windows 10 Proダウングレード) / Windows 8.1 Pro (Windows 10 Proダウングレード) モデルに比べ希望小売価格が3,000円割安となっております。

■ **ESPRIMO提供機種 : Q556/P、D586/P、D556/P、K556/P**

【販売条件】

- (1) マイクロソフト社とボリュームライセンス(パソコン用Windows OSのボリュームライセンス)契約を締結していること。
- (2) 年間25台以上のパソコンを購入予定であること。

ESPRIMO D587/R

多彩なCPUから業務に最適なモデルを選択できる多機能モデル



- ◆Windows 10 Pro (64bit) 搭載モデル提供
(Anniversary Updateを適用したOSをプリインストール)
- ◆最新のインテル®Celeron®プロセッサから第7世代インテル® Core™ プロセッサ・ファミリー(Core3/i5/i7)が搭載可能
- ◆豊富なラインナップ：
「ヘルスケアモデル」、「24時間モデル」、「国際エネルギースタープログラム対応モデル」
- ◆NVIDIA GeForce GTX 745搭載可能 **カスタムメイド**
- ◆大容量 1 TB HDDやフラッシュメモリディスク256GB(SSD)を搭載可能 **カスタムメイド**
- ◆RAID1(ハードウェアRAID)による信頼性向上 **カスタムメイド**
- ◆USB3.1(Gen2, Type-Cコネクタ)に対応可能 **カスタムメイド**
- ◆Blu-rayドライブ搭載可能 **カスタムメイド**
- ◆マルチディスプレイ接続(標準では2台、カスタムメイドで3台まで接続可能)

ESPRIMO Q556/R

省スペース筐体に充実の基本性能を備えたウルトラスモールモデル



- ◆Windows 10 Pro (64bit) 搭載モデル提供
(Anniversary Updateを適用したOSをプリインストール)
- ◆最新の第7世代インテル® Core™ プロセッサ・ファミリーを搭載 **カスタムメイド**
- ◆豊富なラインナップ：
 - 本体カラーは、ご利用環境に合わせて、2色(コアブラック(黒)/マーブルグレイ(白))から選択可能
 - 「国際エネルギースタープログラム対応モデル」、「24時間対応モデル(コアブラックのみ)」の選択が可能
- ◆IEEE 802.11a/b/g/n/ac準拠の無線LAN + Bluetooth® ワイヤレステクノロジーを選択可能 **カスタムメイド**
- ◆省スペース性に優れたウルトラスモール筐体ながら電源ユニット・光学ドライブ(トレー式)を内蔵可能 **カスタムメイド**
- ◆フラッシュメモリディスク(SSD)搭載 **カスタムメイド**
- ◆机上の環境をより快適にする「ディスプレイマウントキット」「ディスプレイアーム」 **カスタムメイド**

ESPRIMO Q556/P

省スペース筐体に充実の基本性能を備えたウルトラスモールモデル



- ◆Windows 10 Pro (64bit) 搭載モデル提供
Anniversary Updateを適用したOSをプリインストール
- ◆第6世代インテル® Core™ プロセッサ・ファミリーを搭載 **カスタムメイド**
- ◆豊富なラインナップ
 - 本体カラーは、ご利用環境に合わせて、2色(コアブラック/マーブルグレイ)から選択可能
 - 「国際エネルギースタープログラム対応モデル」「24時間モデル※」選択可能
※「24時間モデル」は、コアブラックカラーのみ選択可能
 - パソコン用WindowsOSのホリユムライセンスをお持ちのお客様に割安な「ホリユムライセンス必須モデル」を用意
- ◆IEEE 802.11a/b/g/n/ac準拠の無線LAN + Bluetooth® ワイヤレステクノロジーを選択可能 **カスタムメイド**
- ◆省スペース性に優れたウルトラスモール筐体ながら電源ユニット・光学ドライブ(トレー式)を内蔵可能 **カスタムメイド**
- ◆机上の環境をより快適にする「ディスプレイマウントキット」「ディスプレイアーム」 **カスタムメイド**

※各機種のスペックの詳細につきましては、カタログ(2017年4月)をご覧ください。



法人向けノートPC についてウルトラ・モバイル「S937/P」を提供致します。

【ここがポイント】

- ①第7世代最新CPU (Kaby Lake) を搭載
- ②長時間使用に耐えられるバッテリー駆動
- ③薄くてもアナログディスプレイコネクタや有線LAN、モバイル・マルチベイを搭載

用途	ラインナップ	
	2017年4月発表	2016年下期発表
事務所などに設置		<p>15.6型</p> <p>A747/P A577/P A577/PX A746/P A576/P A576/PX</p>
事務所内や会議室への持ち運び・モバイル利用		<p>15.6型</p> <p>U757/P E557/P E756/P E556/P</p> <p>14.0型</p> <p>U747/P E547/P E746/P E546/P</p>
出張や外出などモバイル運用中心	<p>13.3型</p> <p>S937/P</p>	<p>13.3型</p> <p>U937/P E736/P S936/P T936/P</p> <p>12.5型</p> <p>U727/P P727/P</p>

LIFEBOOK S937/P

13.3型ワイド液晶搭載 さらに進化した、いつでもどこでも使える軽量コンパクトウルトラモバイル



- ◆Windows 10 Pro (64bit) 搭載モデル提供
Anniversary Updateを適用したOSをプリインストール
- ◆アクティブに持ち運べるモバイル性 (12インチ並のコンパクト筐体)
315.8×214×11.0~19.8mm (突起部除く)
- ◆アナログRGB、有線LANなどそのまま使える高い拡張性
- ◆毎日のビジネスに安心の“頑丈設計”、200kgf天板加圧試験をクリアする堅牢設計
- ◆NFC、手のひら静脈センサーも加わり、より充実したセキュリティ機能

※スペックの詳細につきましては、カタログ(2017年4月)をご覧ください。

ボリュームライセンス必須モデルについて

ボリュームライセンスモデル必須モデルは、通常のWindows 7 Professional (Windows 10 Proダウングレード) / Windows 8.1 Pro (Windows 10 Proダウングレード) モデルに比べ希望小売価格が3,000円割安となっております。

■ LIFEBOOK提供機種 : S936/M、E756/M、E736/M、A746/N、A576/N

【販売条件】

- (1) マイクロソフト社とボリュームライセンス(パソコン用Windows OSのボリュームライセンス)契約を締結していること。
- (2) 年間25台以上のパソコンを購入予定であること。

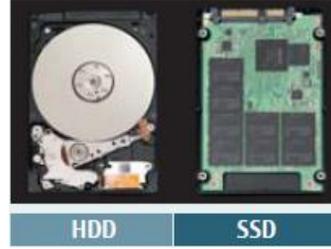
SSD（フラッシュメモリディスク）を搭載することによりパソコンの性能を上げることが可能です。
業務効率を上げるためには、作業速度を向上させたパソコンの活用が重要です。

SSDの特長

静音性

省電力

高信頼



HDD

SSD

- HDDと異なりモーターや磁気ヘッド、回転ディスク等の機械的に駆動するパーツが無いため、省電力かつ軽量、そして、振動や衝撃に強く高信頼です。
また、ディスクを回転させるモーターが不要なため、SSD自体の動作音はありません。

SSDによる業務効率向上が企業全体の生産性向上に貢献

従業員一人あたり、1日で20分間の業務効率が向上すると仮定して、従業員200人の場合、
1年間で約16,667時間（費用換算：約3,333万円*）、3年間で約1億円に相当する生産性が生み出されることになり
ます。

*従業員の1年間の就業日数250日、時給を2,000円として試算。

従業員一人あたり、
1日20分間の業務効率向上



3年間で
約1億円相当の生産性向上



SSD搭載可能機種一覧

●：標準装備、○：カスタムメイド、－：設定無し

モデル SSD	LIFEBOOK								ESPRIMO				
	S936/P S936/M	T936/P	P727/P	U937/P U757/P U747/P U727/P	E756/P E756/M E746/P E736/P E736/M	E557/P E556/P E547/P E546/P	A747/P A746/P A746/N	A577/P A576/P A576/N	Q556/P	Q556/R	D957/P D956/P D587/R	D586/P	K556/P
SSD128GB	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○*2	○	○	○
SSD256GB	-	-	-	-	-	-	-	-	●*1	●*1	○	●*1	-
暗号化機能付 SSD128GB	○	●	●	●	○	○	○	○	-	-	-	-	-
暗号化機能付 SSD256GB	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
SSD128GB + HDD 500GB 変更	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-

*1：24時間モデル、24時間ヘルスケアモデルは標準搭載

*2：24時間モデルは除く



PCワークステーション「FUJITSU Workstation CELSIUS」において、17.3型液晶を搭載したモバイルワークステーション「CELSIUS H970」を提供致します。

【ここがポイント】

- 最新の第7世代インテルCoreプロセッサファミリーとXeon E3-1500Mv6ファミリーを搭載
- Windows 10 Anniversary Update適用済OS搭載
- 「NVIDIA VR Ready」プログラム認定 (Quadro P4000搭載時)

製品ラインナップ

デスクトップ

PCワークステーションの性能と信頼性を凝縮したコンパクトモデル



J550

最新の技術をフル投入し、スピードとパワー、安定性を提供するエントリーモデル



W550

ハイエンド3D CAD、3D CG制作、ソフトウェア開発などに最適なハイエンドモデル



M740

パワフルなデュアルCPUと高信頼チップセットを搭載したアドバンスモデル



R940

対応グラフィックスカード

Quadro® M2000/
K620

Quadro® M4000/
M2000/K620

Quadro® M5000/M4000/
M2000/K620/K420

Quadro® M5000/M4000/
M2000/K620/K420

ラックマウント

1Uラックサイズにワークステーション性能を凝縮し、サーバールーム集約やリモート管理を実現



C740

対応グラフィックスカード

Quadro® M5000/M4000/
M2000/K620/K420

ノート

ノート型筐体にワークステーション性能を凝縮し、モバイルでの設計開発を実現

H760



H970



New!

対応グラフィックスカード

Quadro® M2000M/
M1000M/M600M

Quadro® P3000/
P4000

CELSIUS H970 の特長

高性能NVIDIA® Quadro® GPUを搭載したハイパフォーマンスモデル



- **大画面17.3型ワイドフルHD液晶を搭載**
大画面高解像度(1920x1080)で複数ウィンドウの同時表示や高解像度が必須なアプリなどの表現に活用でき、業務効率を上げます。
- **インテル® vPro テクノロジー標準対応**
- **ハイパフォーマンス機能の実現**
 - ・最新の3DグラフィックスNVIDIA® Quadro® Pシリーズを搭載。
 - ・高速起動/処理を実現するフラッシュメモリディスク (SSD) 搭載可能。
⇒ HDDの大容量データ保存の特長を活かしながら、フラッシュメモリディスク(SSD)による起動の高速化や処理スピードの向上を実現。
- **多彩なセキュリティ機能**
指紋センサー、セキュリティチップ、スマートカードスロットを標準搭載。

CELSIUS H970 のスペック

OS	Windows® 10 Pro (64bit版)	
CPU	標準：インテル Xeon E3-1535Mv6プロセッサ(4C/8T, 3.10GHz) 標準：インテル Core i7-7820HQプロセッサ(4C/8T, 2.90GHz) 標準：インテル Core i5-7440HQプロセッサ(4C/4T, 2.80GHz)	
チップセット	Intel QM175 Express チップセット(CPU i5/i7) Intel CM238 Express チップセット(CPU Xeon)	
メモリ	Xeonモデル 標準：16GB カスタムメイド：32GB、64GB Core iモデル 標準：8GB カスタムメイド：16GB、32GB、64GB	
ストレージ	標準：HDD500GB(SATA) カスタムメイド：暗号化機能付SSD256GB、暗号化機能付SSD512GB	
グラフィックスカード	Xeonモデル：標準：NVIDIA Quadro P3000 (6GB) カスタムメイド：NVIDIA Quadro P4000 (8GB) Coreiモデル：標準：Intel HG Graphics 630(CPU内蔵) カスタムメイド：NVIDIA Quadro P3000 (6GB)、NVIDIA Quadro P4000 (8GB)	
その他	無線LAN：IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (5GHz帯チャンネル：W52/W53/W56)(Wi-Fi準拠) セキュリティ：スマートカード、指紋センサー 海外修理対応	重量：約3.3kg

先端機能を搭載した富士通ディスプレイ 新機種提供

◆ フルHD (1920×1080) 以上のワイドモデル



27型ワイド：VL-P27-8T

・人感センサーと明るさセンサーを搭載。併用により効率的なディスプレイの省電力が可能。

23.8型ワイド：VL-B24-8T

・電子カルテ用ディスプレイとしてもお使いいただけます。

21.5型ワイド：VL-E22-8T

・ブルーライト低減機能、及び画面のちらつき(フリッカー)低減機能搭載。VL-P27-8T、VL-B24-8Tも同様。

◆ 新機種の主な仕様

型名		VL-P27-8T	VL-B24-8T	VL-E22-8T	
画面サイズ		27型	23.8型	21.5型	
液晶パネル	表示方式	IPS	IPS	IPS	
	最大解像度	WQHD (2560×1440)	FHD (1920×1080)	FHD (1920×1080)	
	ドットピッチ(mm)	0.233×0.233mm	0.274×0.274mm	0.248×0.248mm	
	表示色	最大1677万色	最大1677万色	最大1677万色	
	輝度	350cd/m ²	250cd/m ²	250cd/m ²	
	コントラスト	1000:1	1000:1	1000:1	
	応答速度	5ms (GTG at VIDEO mode)	5ms (GTG at VIDEO mode)	5ms (GTG at VIDEO mode)	
	視野角	上下	178°	178°	178°
		左右	178°	178°	178°
	色域	75%(NTSC比)	72%(NTSC比)	72%(NTSC比)	
フリッカーフリー	TUV規格適合	TUV規格適合	TUV規格適合		
ブルーライトカット		ブルーライトカットモード	ブルーライトカットモード	ブルーライトカットモード	
		TUV規格適合	TUV規格適合	TUV規格適合	
消費電力/発熱量	最大	42W/152kJ/h	37W/134kJ/h	21W/76kJ/h	
	エコモード ON時	21W/76kJ/h	19W/69kJ/h	14W/51kJ/h	
	節電時	0.3W/1.1kJ/h	0.3W/1.1kJ/h	0.2W/0.7kJ/h	
国際エネルギースタープログラム	最新版に適合	最新版に適合	最新版に適合		
外形寸法(W×D×H)	613×227×396~526	553×229×346~496	500.5×212×343.4		
質量(表示部のみ)	約7.7kg(約4.6kg)	約5.6kg(約3.5kg)	約3.0kg(約2.7kg)		



法人向けシンクライアント端末についてMobile 13.3 型「MU937」を新規提供致します。

【ここがポイント】

- ①圧倒的な軽さの13.3型ワイド液晶サイズ
- ②カスタムメイド対応でセキュリティデバイスの利用が可能
- ③長時間のバッテリー運用が可能

FUTROラインナップ



New

13.3型ワイド
B5ファイル・モバイル

ヒューロー
FUTRO MU937



13.3型ワイド
B5ファイル・モバイル

ヒューロー
FUTRO MS936



15.6型ワイド
A4ファイル・モバイル

ヒューロー
FUTRO MA576



省スペース
デスクトップ型

ヒューロー
FUTRO S720/N

超軽量 コンパクト

社外への持ち運びに
・営業業務 ・出張が多い方に

認証デバイスの利用
・指紋/手のひら静脈センサー ・スマートカード

VPNクライアントのインストール
証明書を利用した無線LANへの接続

軽量 コンパクト

社外への持ち運びに
・営業業務 ・出張が多い方に

認証デバイスの利用
・指紋/手のひら静脈センサー ・スマートカード

VPNクライアントのインストール
証明書を利用した無線LANへの接続

15.6型の大屏幕 モビリティ

社内での持ち運びに
・企画業務 ・会議が多い方に

認証デバイスの利用
・指紋/手のひら静脈センサー ・スマートカード

VPNクライアントのインストール
証明書を利用した無線LANへの接続

幅広い用途 優れた設置性

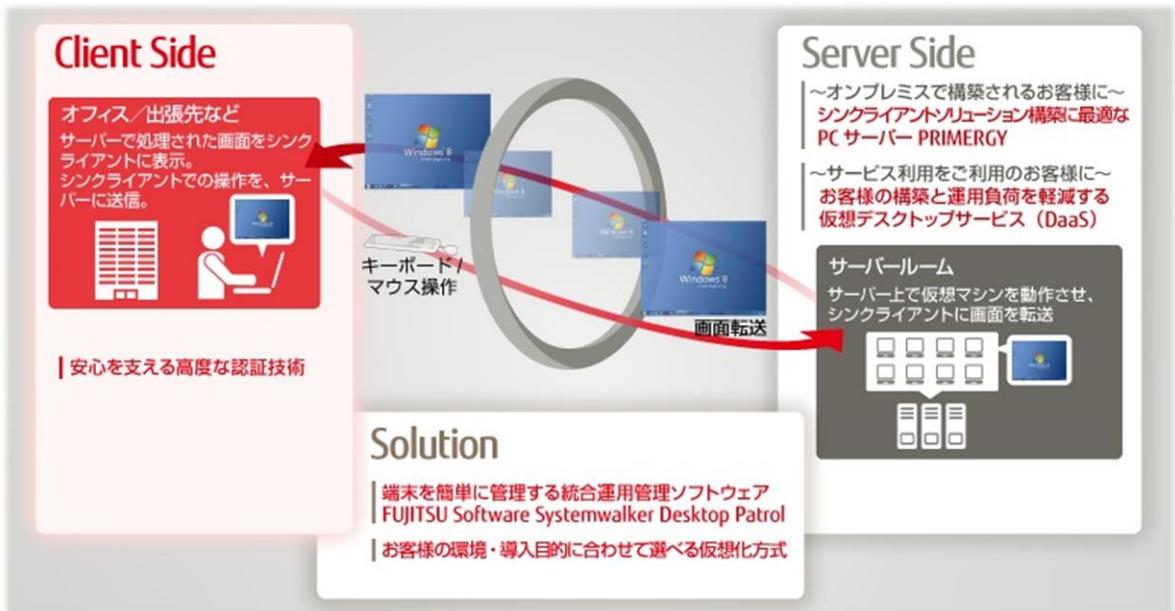
机上設置用に
・社内、屋内公共場所設置に

認証デバイスの利用
・指紋/手のひら静脈センサー

証明書を利用した無線LANへの接続

シンクライアントソリューションのメリット

- Mobility : 外出先からいつものパソコン環境が利用可能
- Security : 持ち出した端末にはデータが入っていないので安心
- Manageability : 統制のとれたパソコン環境管理が可能





- ◆ 快適なモバイル活用を可能にする超計量コンパクト筐体
- ◆ 各種I/O、インターフェースの利用抑止が可能
- ◆ 無線LAN（カスタムメイド）・データ通信製品双方に対応
- ◆ 電話会議でのカメラ利用
- ◆ 確かな信頼性と扱いやすさを実現
- ◆ 日本語アイソレーションキーボード搭載
- ◆ 筐体色の選択が可能（黒、赤）

快適なモバイル活用を可能にする超計量コンパクト筐体

質量約799g（注）、薄さ約15.5mmとモビリティを追求した13.3型の超軽量端末です。標準バッテリーで約6.8時間、大容量バッテリーで約14.0時間の運用が可能です（JEITA2.0）

（注）標準バッテリー搭載時の場合



カスタムメイド対応でセキュリティデバイスの利用が可能

生体認証（手のひら静脈、指紋）でシンクライアント端末へのログオン認証、仮想化環境上でのログオン認証が可能になります（注）。シンクライアント端末へのログオン認証には「Secure Login Box（別売）」と「SMARTACCESS/Premium（別売）」が必要です。仮想化環境上でのログオン認証には「Secure Login Box（別売）」と「SMARTACCESS/Virtual（別売）」が必要です。

（注）手のひら静脈センサーとスマートカードスロットは別々に選択することはできません



シンクライアントシステム構築に必要な最小限のOS、アプリケーションを搭載

Windows 10 IoT Enterprise 2015 LTSC, Citrix Receiver 4.6以降、VMware Horizon Client 4.3以降、サポートナビ、富士通ハードウェア診断ツール、リモートデスクトップ接続 10など、シンクライアントシステム構築に必要な最小限のOSおよびアプリケーションソフトを、内蔵フラッシュメモリに格納しています。

各種I/O、インターフェースの利用抑止が可能

フラッシュメモリへの書込保護機能により、利用者によるドライバー/ユーティリティのインストールを制限できます。また、インターフェース制限ユーティリティ「Portshutter Premium」により、情報漏えいの原因となるUSBメモリなどのI/Oの利用を端末ごとに制限することで、高いセキュリティ環境を構築できます。

無線LAN（カスタムメイド）・データ通信製品双方に対応

カスタムメイドでIEEE802.11a/b/g/n/ac準拠無線LANに対応。また、各種データ通信製品によるモバイル通信に対応しています。

電話会議でのカメラ利用

カスタムメイドオプションのWebカメラを搭載すると、顔を見ながらの電話会議にご利用いただけます。（有効画素数 約92万画素）

確かな信頼性と扱いやすさを実現

衝撃、振動、加圧試験など富士通独自の厳しい社内基準をクリアした高剛性ボディです。



PRIMERGY新ラインナップとして、インテル最新CPU「Xeon E3-1200 v6 製品ファミリー」
「Core i3-7100」「Pentium G4560」に対応した新1WAYサーバを販売開始しました。
PRIMEFLEX HSがvSAN 6.5に対応し、最小3ノードからの構成が可能になりました。

【ここがポイント】

- ①インテル最新CPUに対応した新機種「RX1330 M3」「TX1320 M3」「TX1330 M3」の販売開始
- ②新オプション GPUコンピューティングカード NVIDIA Tesla P100、VDIグラフィックスカード NVIDIA Tesla M10の販売開始
- ③PRIMEFLEX HS インハンス(最小3ノードから構成可能、管理用AD VMのオプション化)

PRIMERGY 1WAYサーバ 3モデル販売開始

省スペース・省電力・静音性に優れた1WAYラックサーバ

RX1330 M2より省電力、静音性を更に強化。
データセンターや企業のサーバールーム設置に最適な薄型
ラックサーバ。



RX1330 M3

	RX1330 M2	RX1330 M3
CPU	Xeon E3-1200v5 Core i3-6100 Pentium G4400	最新インテルCPU Xeon E3-1200V6 Core i3 7100 Pentium G4560
メモリ	最大64GB 4/8/16GB DDR4-2133	最大64GB 4/8/16GB DDR4-2400
HDD	最大20TB (SATA2.5) 最大40TB (SATA3.5)	最大20TB (SATA2.5) 最大40TB (SATA3.5)
セキュリティチップ (オプション)	TPM2.0	TPM2.0
USBインターフェース	USB3.0×6 (2.5インチ×10除く)	USB3.0×6 (2.5インチ×10除く)
消費電力	152W (AC200V) 163W (AC100V)	152W (AC200V) 163W (AC100V)
騒音値	約35dB-62dB	約35dB-62dB

特長

	TX1320 M2	TX1320 M3
CPU	Xeon E3-1200v5 Core i3-6100 Pentium G4400	最新インテルCPU Xeon E3-1200V6 Core i3 7100 Pentium G4560
メモリ	最大64GB 4/8/16GB DDR4-2133	最大64GB 4/8/16GB DDR4-2400
HDD	最大12TB (SATA2.5) 最大20TB (SATA3.5)	最大16TB (SATA2.5) 最大20TB (SATA3.5)
電源冗長	-	○
消費電力	139W (AC200V) 137W (AC100V)	154W (AC200V) 154W (AC100V)
騒音値	約30dB	約34dB
使用環境	5-40℃ オプション適用時	5-40℃ オプション適用時

省スペース・静音性に優れたコンパクト1WAYタワーサーバ

TX1320 M2より内蔵ストレージ容量強化、
冗長電源対応による可用性向上。
新デザインの採用で操作性、視認性向上し
たコンパクトサーバ。



TX1320 M3

操作性の向上と拡張性に優れた1WAYタワー/ラックサーバ

大容量ストレージ対応のタワー/ラックサーバ。
高い拡張性と設置場所を選ばない、ユーティリティ性高いモデル。



TX1330 M3

	TX1330 M2	TX1330 M3
CPU	Xeon E3-1200v5 Core i3-6100 Pentium G4400	最新インテルCPU Xeon E3-1200V6 Core i3 7100 Pentium G4560
メモリ	最大64GB 4/8/16GB DDR4-2133	最大64GB 4/8/16GB DDR4-2400
HDD	最大48TB (SATA2.5) 最大72TB (SATA3.5)	最大48TB (SATA2.5) 最大72TB (SATA3.5)
セキュリティチップ (オプション)	TPM2.0	TPM2.0
消費電力	231W (AC200V) 248W (AC100V)	231W (AC200V) 246W (AC100V)
騒音値	約34dB	約37dB
使用環境	5-40℃ オプション適用時	5-40℃ オプション適用時

特長

■ **GPUコンピューティングカード NVIDIA Tesla P100**

AIや機械学習、各種シミュレーション向けのGPUカード

- メモリ容量 (16GB/12GB)
- Pascal GPU 3584個

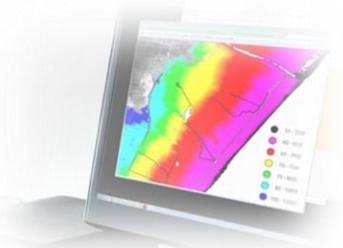
P100サポート機種と搭載枚数

CX2570 M2…2枚、**RX2540 M2…2枚**



■ **VDIグラフィックスカード NVIDIA Tesla M10**

- GRID K1の後継
- CUDAコア 2560個 (GRID K1 : 768)
⇒**64クライアント** (目安) まで接続可能



FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX HS」のエンハンス

エンハンスポイント1

最小3ノードから構成可能

より小さく始めることができ、コストを抑えた提案が可能

VMware vSphere ESXi 6.5、
VMware vSAN 6.5に対応



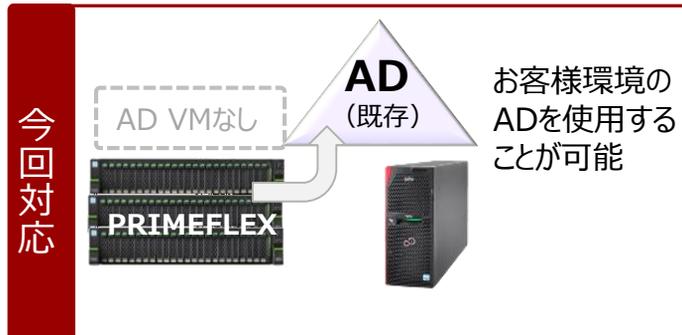
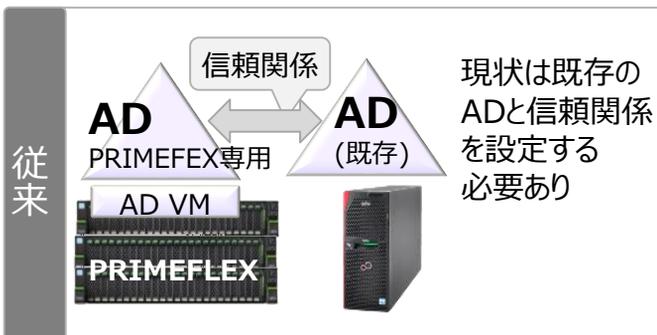
3ノードからスタート [今回対応]

エンハンスポイント2

管理用AD VMのオプション化

従来必須だったAD VMを選択可能
お客様環境に応じた、より柔軟な対応が可能

- ①ADVMを工場であらかじめ構築して出荷
- ②ADVMを構築せずに出荷 (今回より選択可能)





新プロセッサ「SPARC64 XII（トゥエルブ）」を採用した新UNIXサーバ「SPARC M12-2」「SPARC M12-2S」の2モデルを新規に販売開始いたします。「SPARC M12-2」は「SPARC M10-4」の、「SPARC M12-2S」は「SPARC M10-4S」の後継機種として、ミッションクリティカル領域に最適な最新UNIXサーバであり、従来機種からの高信頼性・スケーラビリティを継承しながら、コア性能の大幅な向上により、お客様のICT投資最適化に貢献します。

SPARC M12 ラインナップ

- SPARC M12は全てのお客様に最適な次世代ICT基盤を提供いたします。
- サポートOS : Oracle Solaris 10
Oracle Solaris 11



SPARC M12-2

最大2CPU/24コア/192スレッド



SPARC M12-2S

最大：32CPU/384コア/3,072スレッド
(2CPUを1筐体～16筐体までを増設可能)

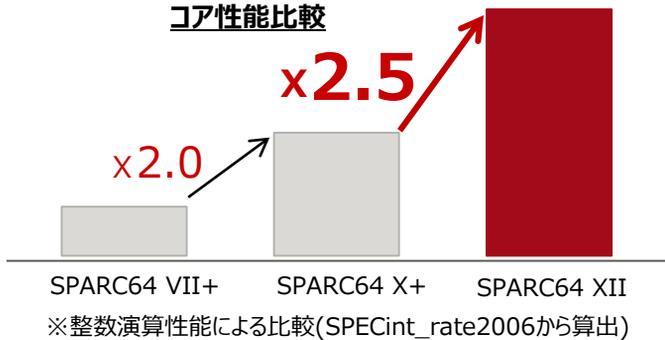
SPARC M12 特徴

✓ 圧倒的プライスパフォーマンス

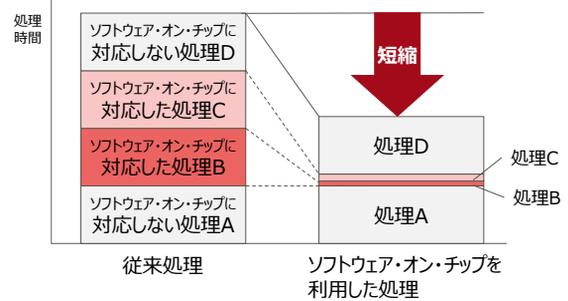
■ 最新のSPARC64™ XIIプロセッサ搭載

- 最新のプロセッサ技術により、従来から性能を大幅に向上させています。さらに、ソフトウェア処理の一部をハードウェアにオフロードさせるソフトウェア・オン・チップにより、ソフトウェア性能を劇的に加速させます！

コア性能比較



ソフトウェア・オン・チップの概要



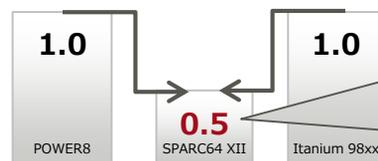
■ データベースサーバに最適な高速・大容量メモリを搭載

- メモリコントローラをCPUに統合することでメモリアクセスの応答時間が大幅に低減しました。
- 最大搭載容量も従来より大幅に拡張され、大容量メモリが必要なデータベースなどのアプリケーションをさらに高速化することができます。

■ Oracle Databaseのライセンスもお得！

- SPARC M12は、UNIXサーバでは唯一Oracle Databaseライセンス係数が0.5となっており、同コアのシステムの場合、他社に比べて半分のコストで導入することができます。

オラクルソフトのマルチコアライセンス係数比較

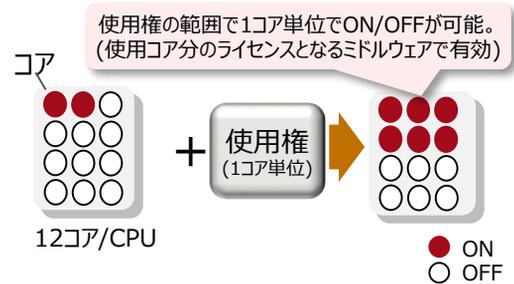


他社UNIXサーバと同コアのシステムの場合、ライセンス費用および保守料が半分で！

✓ 自由自在の拡張性

■ コア単位での性能増強が可能

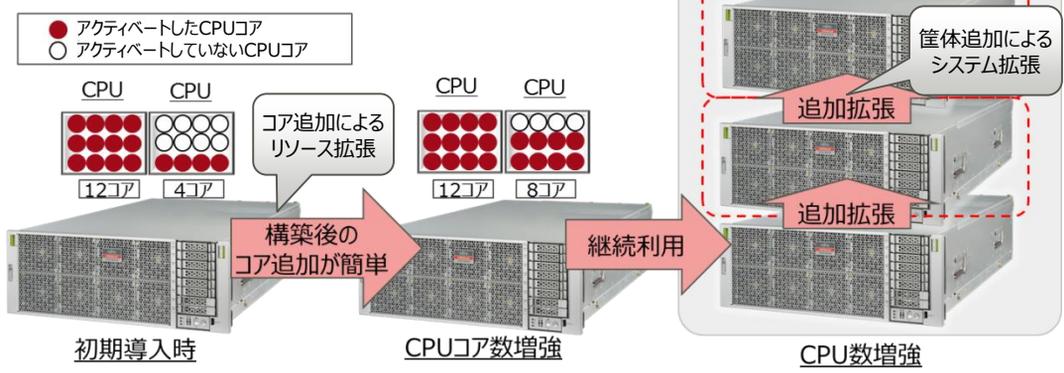
- SPARC M12はコア単位での増減ができます（購入は1コア単位）
従来装置や他社機では難しい、必要な分だけの購入や、CPUリソースの追加も簡単に行えます。



■ 筐体を積み重ねるシンプルな性能拡張が可能（M12-2S）

- 筐体を積み上げることでリソース拡張が簡単に行えるようになりました。
筐体間は高速インターコネクトで接続しており、ニアな性能向上を実現しています。

<SPARC M12によるスモールスタート>

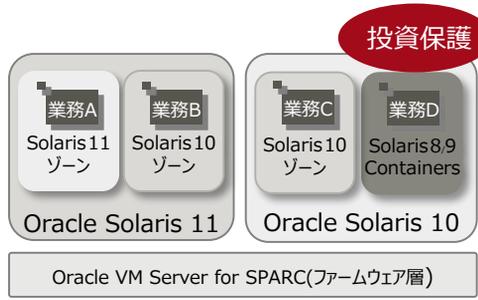


業務の拡張に応じて、システムを簡単に拡張可能

✓ ずっと使える

■ 仮想化機能により、旧資産も簡単に移行可能

- 同一サーバ内に4世代のOracle Solaris(Solaris8/9/10/11)の混在が可能。Solaris 8/9からの移行が簡単に行えるOracle Solaris Legacy Containers[※]も利用できます。
※別途ライセンスが必要となります。



■ 高い信頼性を継承・強化

- SPARC Enterprise Mシリーズでも定評のあったRAS機能を継承・強化しています。徹底したデータ保護、冗長化、動的縮退により、お客様のシステムの業務継続を実現します。

■ お客様資産の長期利用もサポート

- SPARC M12では長期サポート対応製品を用意しており、最長10年間継続してお使いいただくことができます。また、ハードウェアだけでなく、Oracle Solarisやミドルウェアも対応することで、お客様の長期利用をしっかりサポートいたします。

ご参考価格 ※標準価格(税別)、2017年4月時点

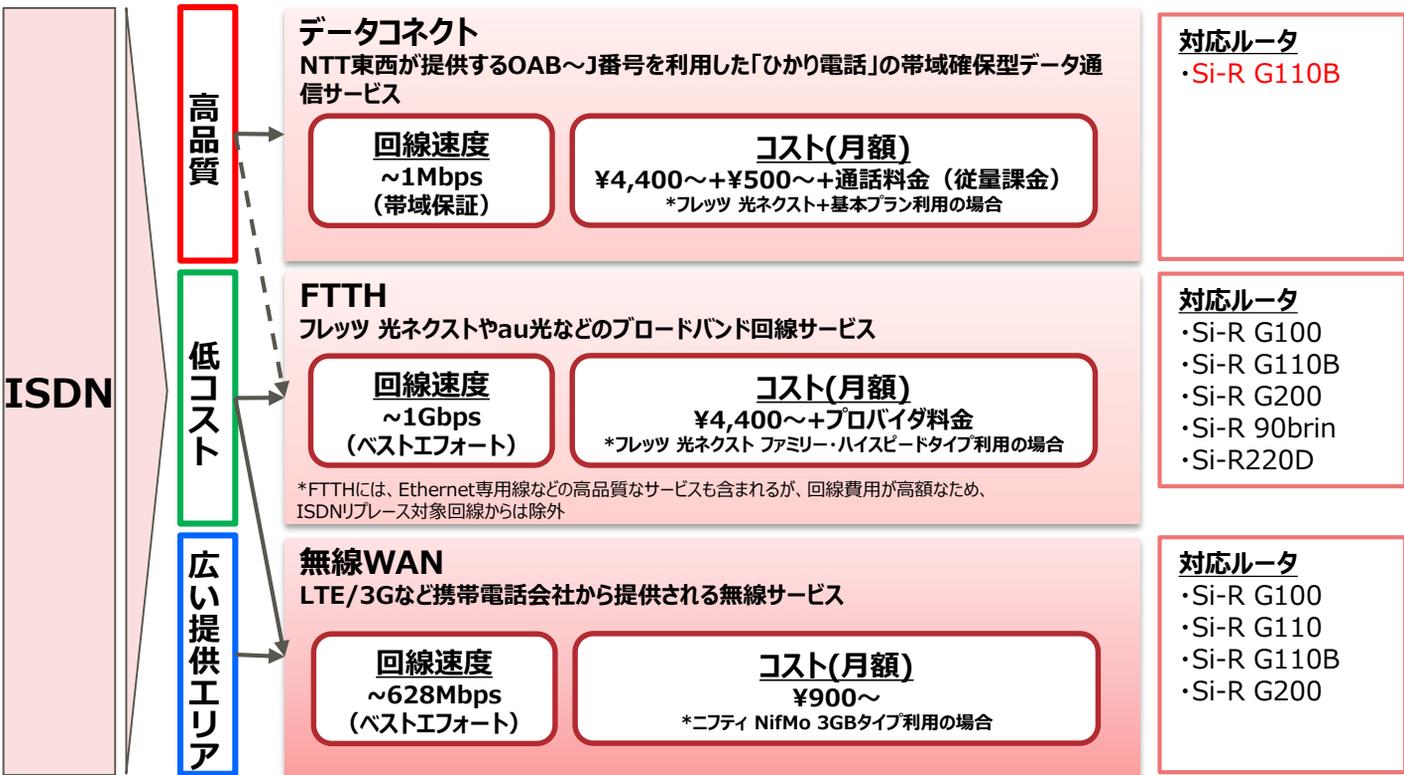
製品名	詳細(最小構成)	販売価格(税別)
SPARC M12-2	1CPU (CPUコア アクティベーション 2コア含む) 、64GBメモリ、電源ケーブル	5,900,000円より
SPARC M12-2S	1CPU (CPUコア アクティベーション 2コア含む) 、64GBメモリ、電源ケーブル	15,835,000円より



NTT東西が提供しているISDNサービス（INSネット）のデジタル通信モードは2024年以降サービスを終了するとアナウンスされていますので、早急なリプレイスが計画が必要となります。小型ONU対応ルータSi-R G110の機能強化として、NTT東西が提供する、ひかり電話を利用した帯域確保型データ通信サービスであるデータコネクトに対応したSi-R G110Bの提供を開始いたします。

ISDN回線からのマイグレーションパターン

■ ISDNからのマイグレーションにあたり、推奨すべき回線サービスは下記の3つです。



※コストについては2年単位契約時（税抜き価格） 2016年6月当社調べ

Si-R Gシリーズの特長①

- Si-R Gシリーズでは、フレッツ光ネクストなどの光回線サービスや、LTEなどの高速無線WANサービスおよびデータコネクトのご利用が可能です。ISDN回線からの移行先として最適です。
- 小型ONU対応/ 全ポートギガ対応/ 高速WAN(有線・無線)対応

小型ONU対応ルータ

Si-R G110B



- ・10/100/1000BASE-T ×4 (SW)
- ・10/100/1000BASE-T ×1※1
- ・小型ONUポート×1※1
- ・USB (通信、メモリ) ×1
- ・VPN性能 1Gbps
- ・VPN対地数 100
- ・IPルーティング性能 1.9Gbps

※1 10/100/1000BASE-T×1と小型ONUポートは排他利用

中規模拠点向けギガアクセスルータ

Si-R G200



- ・10/100/1000BASE-T ×8 (SW)
- ・10/100/1000BASE-T ×2
- ・ExpressCard/34 ×1、USB (通信、メモリ) ×2※2
- ・VPN性能 650Mbps
- ・VPN対地数 250
- ・IPルーティング性能 1.9Gbps

※2 通信用には、ExpressCard/34×1、USB×2のうち合計最大2ポートまで使用可。

小規模拠点向けギガアクセスルータ

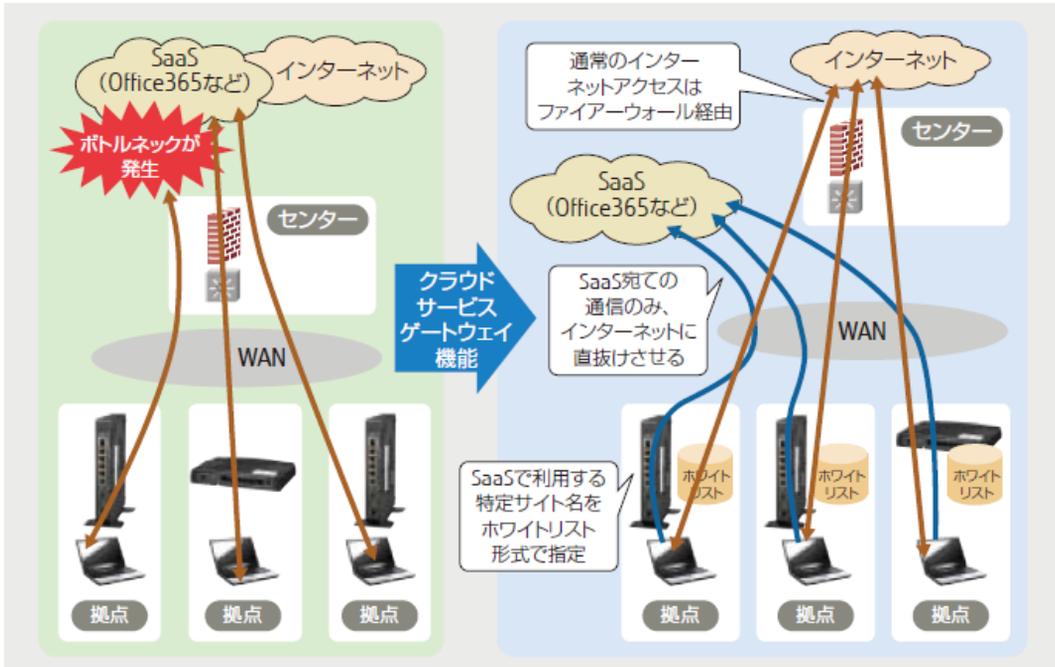
Si-R G100



- ・10/100/1000BASE-T ×4 (SW)
- ・10/100/1000BASE-T ×1
- ・USB (通信、メモリ) ×1
- ・VPN性能 440Mbps
- ・VPN対地数 100
- ・IPルーティング性能 1.8Gbps

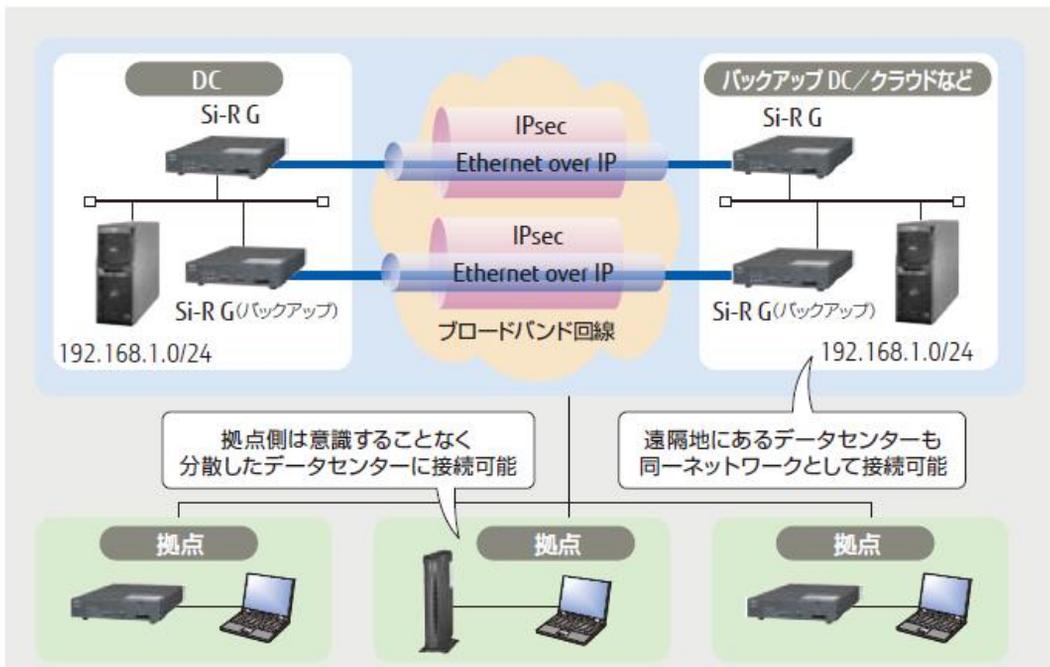
■ SaaSに最適なネットワーク

- クラウドサービスゲートウェイ機能(特許取得済)は、トラフィック集中が懸念されるSaaSなどの特定サイト(ホワイトリスト)へのアクセスだけを拠点から直接インターネットアクセスに変更することが可能です。これにより、インターネットアクセス品質の低下抑制や、SaaSの快適利用を実現します。
- 通常のインターネットアクセスは、センター経由となるため、従来通りのセキュリティチェックを施すことが可能です。
- ホワイトリストは、ポリシーサーバを設置し一元管理が可能です。必要に応じて拠点へホワイトリストを配信することで、全社共通ポリシーに従った運用が可能です。※記載の製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



■ 分散したデータセンターネットワークに最適

- Ethernet over IP機能を利用することで、IPネットワークによって接続された複数のデータセンターなどのネットワークを同一のレイヤー2ネットワークとして構築することが可能です。
- IPsec VPN機能と併用することで、Ethernet over IP通信を安全に行うことが可能です。
- 透過モードを使用することで、VLANを含むEthernetフレームを転送することが可能です。
- Ethernet over IP + IPsec VPNの併用に加えて、バックアップ機能も利用することで、安価で高速なブロードバンド回線によるバックアップ構成を実現可能です。高価な回線でしか接続できなかったデータセンター間ネットワークを安全にかつ低価格な回線に置き換えることが可能です。



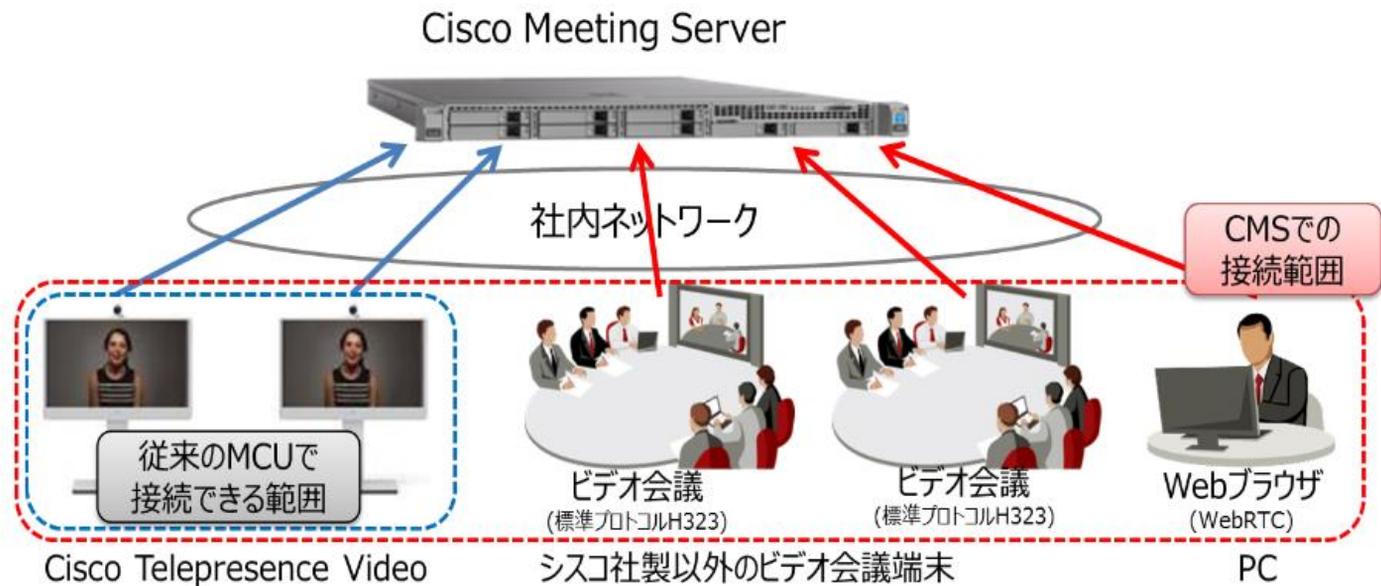


「Cisco Meeting Server(CMS)」はMCU(多地点接続装置)機能を備えつつ、Microsoft社が提供するSkype for Business、Web ブラウザ、他社ビデオ会議システムと連携が可能な仮想化アプリケーションです。
既存のビデオ会議システム(Polycom社製端末など)をご利用中のお客様にMCU機能としてご利用いただけます。

シスコ社製以外のビデオ会議端末などあらゆる端末との多地点接続が可能

■ 接続イメージ

従来はシスコ社製ビデオ会議端末やソフトフォンのみの多地点接続が可能でしたが、「CMS」は「H323」等のプロトコルに対応した他社のビデオ会議システムやPC等との多地点接続が可能です。
既存でビデオ会議システム(Polycom社製端末など)をご利用中のお客様はMCU機能としてご利用いただけます。



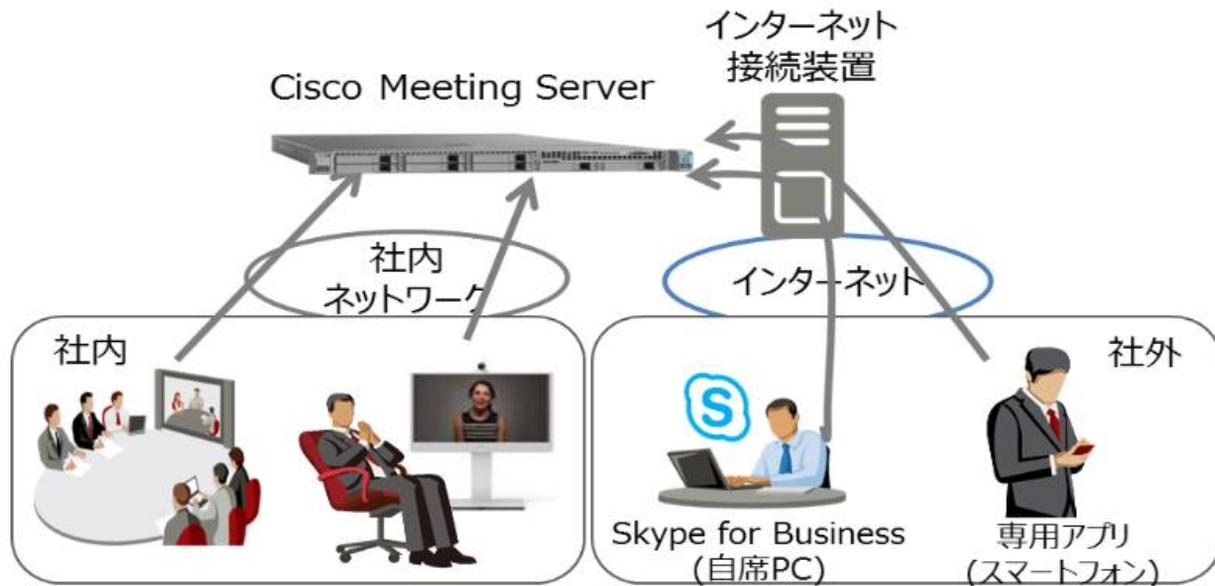
また、「WebRTC」を利用すれば、クライアントソフトのインストール不要で、Webブラウザ(Chrome等)からの接続が可能です。

【接続可能な規格一覧】

項目	内容
ビデオ規格	H.263 (+, ++), H.264 AVC (Baseline and High Profile), H.264 SVC, WebM, VP8, Microsoft RTV, HTML5/WebRTC, SIP, H.323, TIP
音声規格	AAC-LD, Speex, Opus, G.722, G.722.1, G.722.1c, G.728, G.729a, G.711a/u

富士通取り扱いシスコ社製エンドポイントおよび電話機に加え、上記の規格に対応する端末の接続が可能です。
※導入には担当SE/支援部隊と連携の上、事前に接続検証をしていただきますようお願いいたします。

■あらゆる利用シーンに応じた会議が可能



従来映像を利用した会議にはビデオ会議やWeb会議があり、別々に利用されていました。CMSは標準でSkype for Business・Webブラウザ・専用アプリと接続が可能のため、利用シーンに応じてビデオ会議・PC・スマートデバイスなどあらゆる端末から会議に参加することが可能となります。

【仮想化アプリケーション「CMS」をハードウェア「CMS1000」に搭載した場合の接続数について】

解像度 / フレームレート	1080p60	1080p30	720p60	720p30	Lync Gateway	480p30	VGA	CIF	Web会議 (*2)	Audio
接続可能なデバイス数	28	48	57	96	115(*1)	192	230	480	1152	3000

(*1) 解像度はVGA

(*2) 資料と音声のみの場合

導入価格例

【前提条件】

・端末は既存のものを利用するため追加手配なし

・一度に同時に開催される会議は2会議まで

※CMSでは会議の同時開催数のライセンス（SMPライセンス）が必要となります。

品名	数量	標準価格	合価	備考
Cisco Meeting Server 1000 Bundle	1	¥3,331,000	¥3,331,000	CMS本体装置 VMwareおよび、VM Meeting Serverバンドル
TelePresence SMP ライセンスx1	2	¥1,594,000	¥3,188,000	2ライセンス
総計			¥6,519,000	



ワークスタイル変革を実現するため、様々なコラボレーションツールが増加しています。「シームレスコラボレーションサービス」はあらゆるコラボレーションツールをシームレスに繋ぎ働く場所・デバイスに合った最適なコラボレーション環境を提供します。

シームレスコラボレーションサービスとは？

「シームレスコラボレーションサービス」とは、様々なデバイスを利用し、「手段」・「場所」・「時間」を問わず、様々なコラボレーションツールをセキュア且つ簡単に利用できるクラウド型サービスです。今回はビデオ会議接続サービス「コラボレーションゲートウェイ」および、PCソフトフォン、モバイル等の様々なデバイスで、音声通話、インスタントメッセージ、プレゼンス等のUnified Communication（以下、UC）機能を提供する「UCサービス」をクラウド型で提供します。

概要図



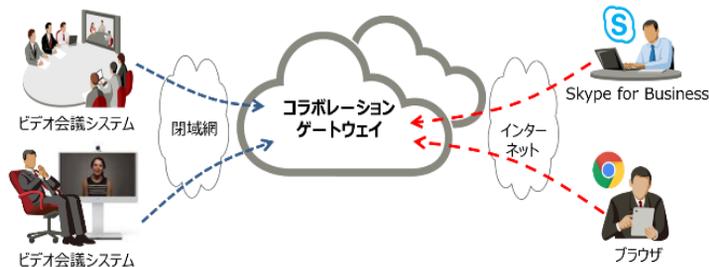
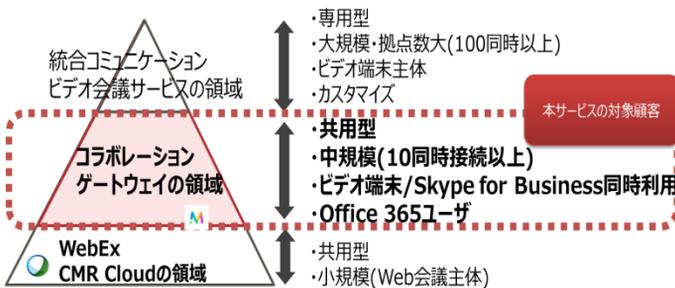
提供形態

シームレスコラボレーションサービス

- ① コラボレーションゲートウェイ
- ② UCサービス

① コラボレーションゲートウェイの概要

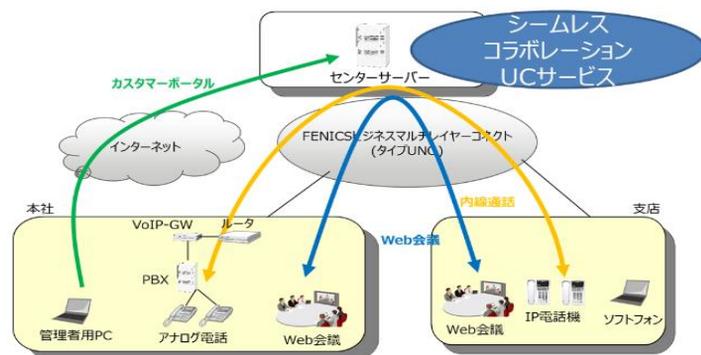
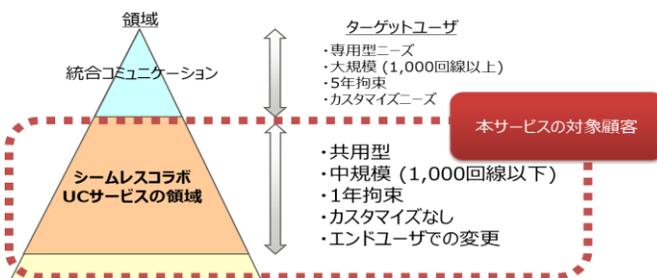
コラボレーションゲートウェイはビデオ会議端末の多地点接続と異機種間(ビデオ会議端末・PC・スマートデバイス)の相互接続を実現する中規模(5~40同時接続)向けのサービスとなります。



- 利用者は場所・端末を気にせず、どこでも会議に参加可能
- 高額な初期投資が必要なビデオ会議インフラをサービスで利用可能
- 利用したい数のID数を利用可能

② UCサービスの概要

本サービスはNTTコミュニケーションズが提供する「Arcstar UCaaS Cisco タイプ」のプラットフォームを利用してUC機能をクラウド型で提供します。中規模（500~1000回線）のお客様向けにIP電話、PCソフトフォン、モバイル等の様々なデバイスで、音声通話、Web会議、テレビ会議等の様々なコラボレーションツールをセキュアかつ簡単に利用できる環境をサービス型で提供します。



①コラボレーションゲートウェイの特長

(1)Skype for Businessとの連携

Office 365のSkype for Businessを利用すれば、拠点間のビデオ会議に自席や外出先から参加が可能になります。

【従来】

- ビデオ会議のある拠点に移動
⇒ 移動時間、コストが発生
- 全員がWeb会議で会議
⇒ 臨場感がない。拠点トラフィック圧迫

【本サービス】

- Skype for Business(Office 365)のWeb会議機能でPCから会議に参加可能
- PCからの資料共有も可能

(2)社外関係者とのビデオ会議を実現

PC(Webブラウザ)からインターネット経由で社外関係者やお客様とのビデオ会議を実現します。

【従来】

- 対面会議
⇒ 移動時間、コストが発生
- ビデオ会議システムにゲストアクセスを追加
⇒ セキュリティ対策が必要
⇒ 専用クライアントのインストールが必要

【本サービス】

- インターネットからのビデオ会議端末の接続を提供
- ゲストアクセスにWebRTC技術を利用し、クライアントインストール不要で会議に参加可能

(3)初期コストを抑えたビデオ会議を実現

オンプレミスの場合は多地点接続装置の機器費やSI作業費用※が高額となりますが、本サービスの場合は中規模向けのお客様でも初期コストを抑えた利用が可能となります。

【オンプレミス】5台接続する場合

- 多地点接続装置 : 450万円
 - インターネット接続装置 : 550万円
 - ライセンス+個別SI費用 : 1,000万円
 - 計 : **2,000万円**
- 初期投資が高く導入に踏み切れない

【本サービス】5台接続する場合

- 多地点接続 : 20万円/月
 - インターネット接続 : 8万円/月
 - 計 : **28万円/月**
- 中規模のお客様でも利用したいID数に合わせて利用可能

②UCサービスの特長

(1)ID数の増減に柔軟に対応可能

柔軟にID数の追加・減少が可能のため、利用する機能や働き方に合わせた柔軟な利用が可能です。

(2)短期間での導入や運用工数を低減

オンプレミスでの導入と比較すると導入までの期間も短く、ビジネス環境の変化にも迅速に対応可能です。また、サービス型での提供により設備の運用・管理の工数が減るため、お客様の負荷を低減します。

(3)管理者機能

管理者ポータルを公開しているため、お客様自身で利用者の追加・削除や内線番号の付与が可能のため、組織変更や従業員の増減に素早く対応できます。



「AuthConductor Server Standard V1」は、オンプレミスからクラウドサービスまで様々な業態のお客様が保有するサービス環境に手のひら静脈認証を連動させることが可能な、統合管理ソフトウェアです。
企業内の業務システムの認証 (inB) のほか、企業サービスを利用するお客様の認証(B2C)に適用可能です。

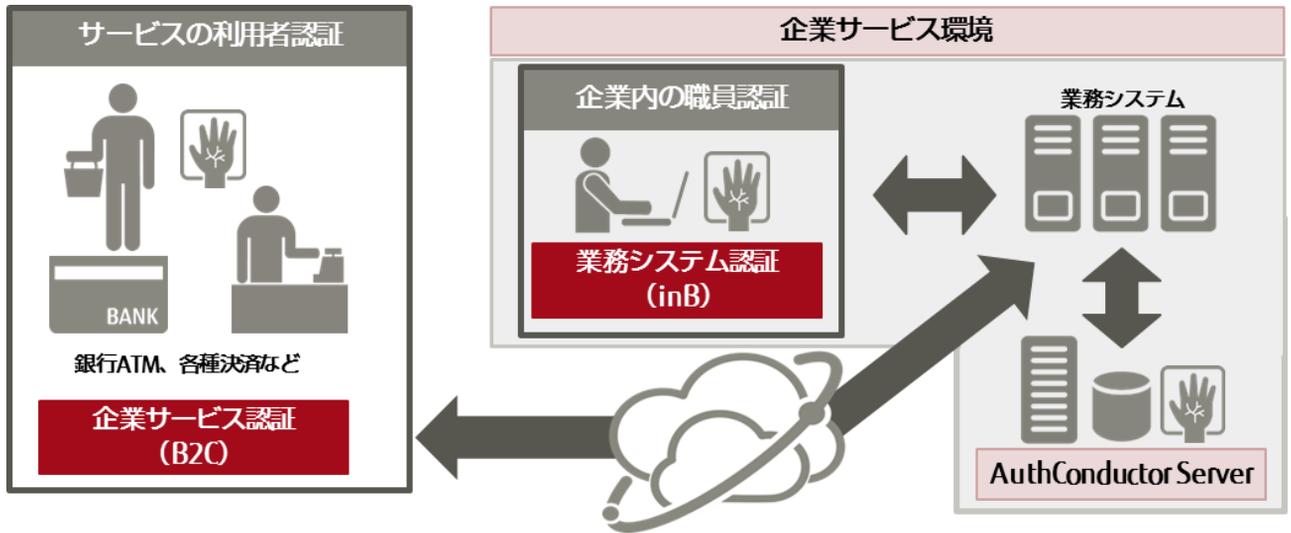
【ここがポイント】

・業務システムへの容易な組込み

- ①業務パッケージ連携やWebAPI利用により、銀行ATMや決済端末連携など様々な業態において、お客様の複数の業務システムに容易に手のひら静脈認証機能を組み込みます。
- ②業務システム毎に独立した個々の認証環境を構築できるため、お客様環境にあわせた柔軟なシステム構築が可能です。
- ③生体情報の統合管理：手のひら静脈情報を統合的に運用・管理する事が可能なため、システム毎の静脈情報管理が不要

AuthConductor Server Standard概要

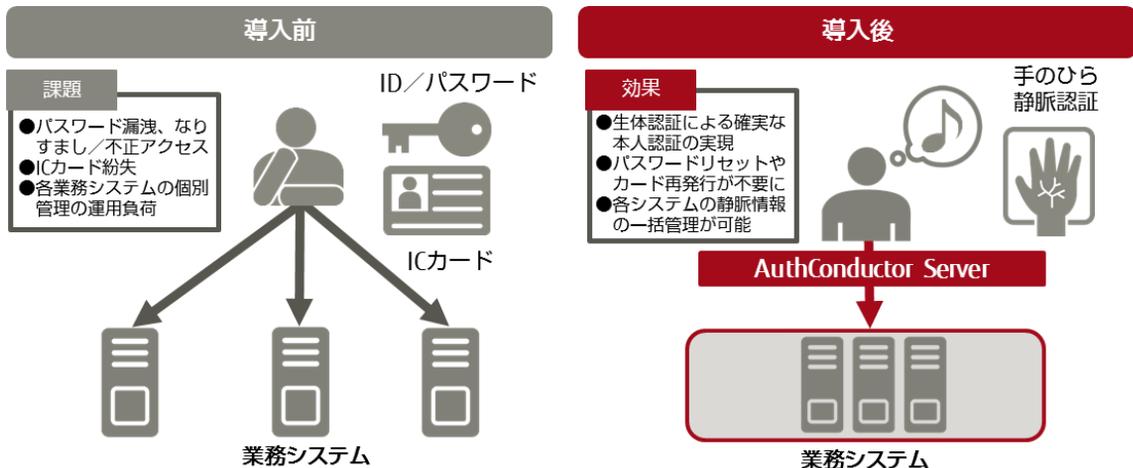
「AuthConductor Server」は、「手のひら静脈認証 FUJITSU 生体認証 PalmSecure」を認証デバイスとして利用する高精度な利用者認証機能と、認証に利用する生体情報を統合的に運用・管理する機能を搭載しています。社内業務システムを利用する企業内の職員の認証 (inB) だけでなく、企業が提供するサービスの利用者の認証 (B2C)にも適用できます。



AuthConductor Serverシステム構成イメージ

導入メリット

「AuthConductor Server」の導入により、お客様の利便性およびセキュリティの向上が実現し、運用管理工数の軽減が図れます。

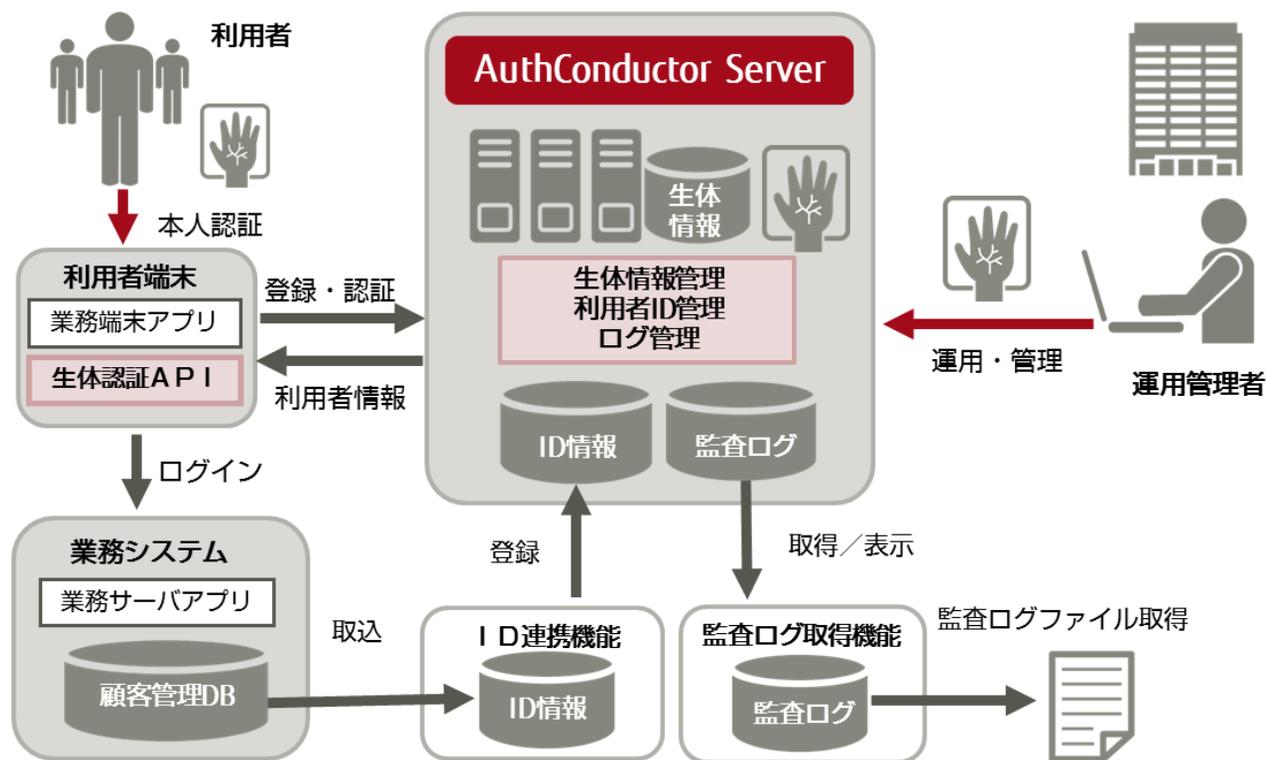


1. 業務システムへの容易な組み込み

業務パッケージ連携やWebAPI利用により、銀行ATMや決済端末連携など様々な業態において、お客様の複数の業務システムに容易に手のひら静脈認証機能を組み込めます。業務システム毎に独立した個々の認証環境を構築できるため、お客様環境にあわせた柔軟なシステム構築が可能です。

2. 生体情報の統合管理

個々の認証環境に格納されている生体情報を統合管理できるため、システム毎に手のひら静脈情報を運用管理する手間が不要となります。



利用シーン

各種業務への手のひら静脈認証の適用が可能です。

銀行ATM キャッシュカードレス取引 	店舗 クレジットカードレス決済 	ホテル 客室キーレス開錠 セルフチェックイン 	図書館 図書カードレス貸出 	イベント会場 チケットレス入場
----------------------------------	-------------------------------	---	-----------------------------	-------------------------------

構成例

利用者が1,000人、クライアント端末が200台、サーバ冗長時の「AuthConductor Server」関連の構成例

アイテム		価格(税抜き)
AuthConductor Server Standard V1 ライセンス費用	2,800,000円	合計：4,000,000円
その他関連ソフト	1,200,000円	

- ・サーバ機器、クライアント端末、PalmSecureセンサV2、ネットワーク、および導入SE費用は本見積りに含んでおりません。
- ・サーバ機器、ソフトウェア構成はお客様要件により変動します。
- ・保守サポートメニューも別途ご提供しております。



「K5」は、オープンテクノロジーをベースに当社の知見やノウハウを『Knowledge』として蓄積させ、お客様の開発／運用の効率性を向上する新たなクラウドです。
この「K5」について、最近のエンハンス内容をご紹介します。

高度なセキュリティを実現する「IPCOM VA2」を仮想アプライアンスとしてご提供

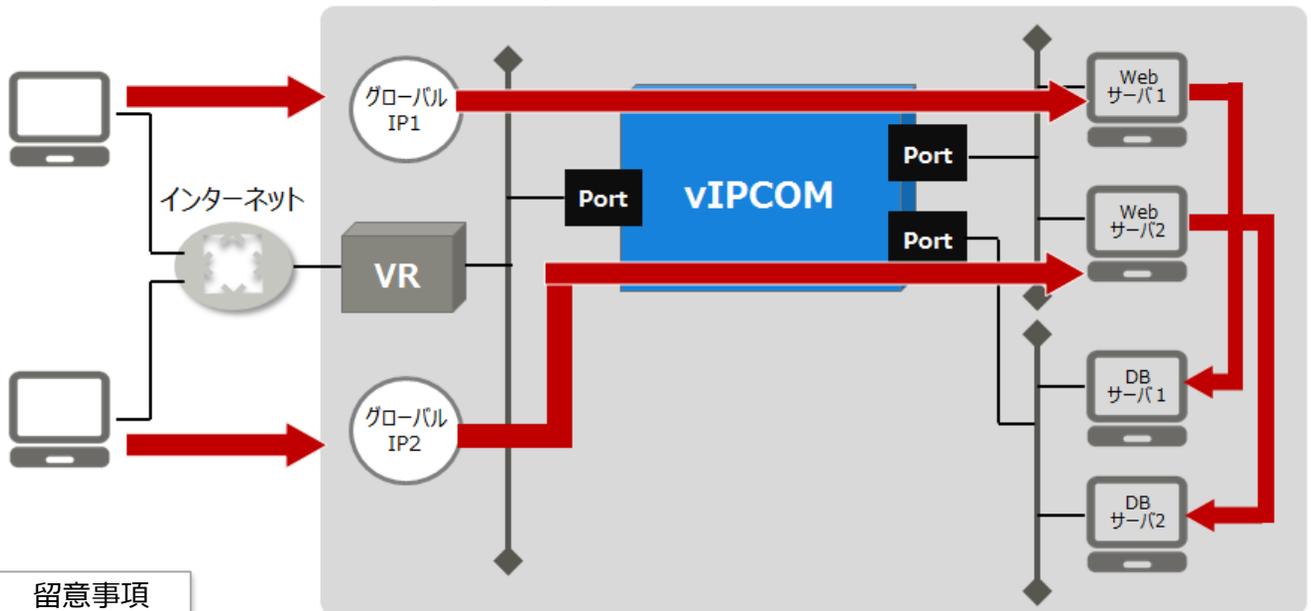
10年以上の実績を持つIPCOMを仮想ソフトウェア化した「仮想アプライアンス(IPCOM VA2 1300 LS)」をK5のオプションとして提供します。これにより、K5仮想ルータのファイアウォール機能やセキュリティグループ機能に加え、WAFやIPSを活用した高度なセキュリティ機能を実現いたします。

主な機能

- WAF(Web Application FireWall)機能：アプリケーションなどの脆弱性をついた攻撃や不正アクセスから防御
- アノマリ型IPS機能：お客様アプリケーションへのDoS(Denial of Service)攻撃のリスクを低減
- ロードバランサー機能：FQDNごとにロードバランサーを分ける必要がなく、1台で2つ以上のFQDNを管理可能
- ログ出力機能:FWログ取得が可能 (例:TCPの場合、送信元/先のIPやポート、セッションの開始or完了など)

アノマリ型:正常ではない、異常なパケットやトラフィックを攻撃として検知する仕掛け

FQDN:Fully Qualified Domain Name(ホスト名、ドメイン名などすべてを省略せずに指定した記述形式)



留意事項

- ・ 仮想アプライアンスのライセンス費用に加え、仮想サーバ費用(S-1またはS2-1)、システムディスク費用(102GB)が発生します。
- ・ 本機能の提供リージョンは、東日本リージョン1、西日本リージョン2となります。

ブロックストレージ（ハイパフォーマンスタイプ）のご提供

仮想マシンのOSおよびデータを格納するブロックストレージにおいて、従来の「スタンダードタイプ(M1)」に加え、増設ストレージ用として「ハイパフォーマンスタイプ(H2)」を新規に提供いたします。

ストレージタイプ	用途	最大IOPS/GB	ディスクサイズ
H2	小中規模DBなど、スループットが必要となるアプリケーションデータを格納する場合	5 IOPS/GB ※	1000GB~3000GB (1GB単位)

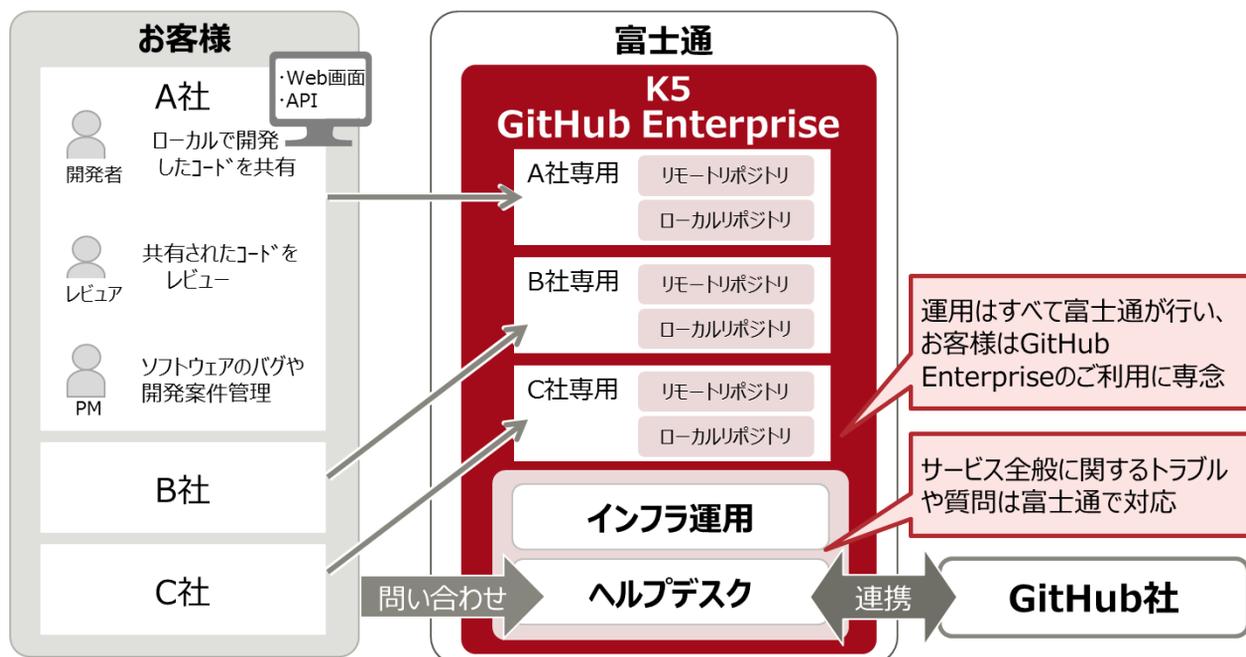
※：IOPSはブロックサイズ16KBで換算します。性能は、動作環境により変化し、保証されるものではありません。

システム開発時のソフトウェアの変更履歴を管理「GitHub Enterprise」をご提供

GitHub Enterpriseは、ソフトウェアのコードの共有／公開や改定履歴管理、開発者間のレビューなど、チーム開発に適した機能を備えたソフトウェアバージョン管理サービスです。本サービスはGitHub社の「GitHub Enterprise」をお客様毎の専用環境としてK5から提供するものです。利用者は、通常の「GitHub Enterprise」の全機能を利用でき、インフラ運用やトラブル時の対応は富士通で対応するため、安心・安全にシステム開発を行っていただけます。

特長

- プロジェクト管理の効率化：バージョン管理だけでなく、ソースコードレビュー機能/案件管理機能/Wikiを提供
- お客様専用環境による安全な資産管理：VMLレベルで専用化しており、安全な資産管理が可能
- 富士通による安心・安全なシステム運用：GitHub Enterpriseのインフラ運用は全て富士通が対応。



※東日本リージョン1にて提供開始

リポジトリ：ソースコードや関連ドキュメントを版数管理するための機能。版数管理のリポジトリ機能は「複数人で共有」「個々のユーザー専用」の2タイプがあります。

ヘルプデスク：GitHub Enterpriseの製品そのもののトラブル・製品仕様に関する質問はGitHub社と連携して解決します。

その他（正式提供を開始したPaaS）

- ビジネスサポート（2017年3月31日～、東日本リージョン1より提供）

お客様がサービスを実施する上で必要な「顧客管理」「契約管理」「料金計算」の3つの機能をWeb APIで提供します。必要な機能だけを利用することができます。（但し、料金計算は、契約管理が必要）

- シェアリングビジネス基盤（2017年4月7日～、東日本リージョン1より提供）

お客様のシェアリングビジネスのアプリケーション構築を支援するサービスです。シェアリングビジネスのアプリケーションに必要な商品や利用者を管理する機能をWeb APIで提供します。

- バッチ基盤（2017年4月7日～、東日本リージョン1より提供）

Javaで開発されたバッチアプリケーションを実行するバッチ実行基盤とバッチに特化した軽量のフレームワークを提供するサービスです。バッチの実行環境の迅速な提供、かつ柔軟な保守を可能とします。バッチ業務の開発・構築～運用保守を幅広くカバーします。（PFの利用が前提となります）



マルチベンダーに対応したセキュアな印刷環境と、管理者向け各種管理機能を提供するクラウド型のサービスです。複合機の設置場所、メーカー、機種にとらわれずに、セキュアな印刷に対応し、印刷に関する運用コストの削減ができます。

【ここがポイント】

- ①利便性向上：複合機の設置場所、メーカー、機種を問わず、どこでも印刷
- ②情報漏えいの抑止：出張先オフィスでの印刷を実現し、移動中の紙資料紛失リスクを低減
- ③コスト削減：印刷ログを一元管理し印刷状況を分析、複合機の最適配置によりコスト削減

印刷を取り巻く現状と課題

モバイル・ワークスタイル変革の新しいニーズに対応するために複合機の設置場所、メーカー、機種にとらわれない印刷の実現が求められています

プリンタ設定の運用負荷が高い

利用者がドライバの導入/プリンタ設定を行うため導入時のトラブルや作業の代行が大変
共通マスタが利用できるVDI(注1)でもプリンタだけは例外となっている

いつでもどこでも安全に印刷したい

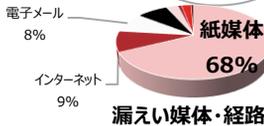
働く場所や時間にとらわれないワークスタイルを実践するには、仮想デスクトップ基盤とともにセキュアな印刷環境も必要

紙媒体紛失による情報漏えいが心配

紙媒体は、業種や業務内容に関わらず、どんな場合においても多用される、使用機会の多い媒体であるため、それだけ漏えいすることが多い

複合機の使用状況を把握できない

全国の各事業所で様々なメーカーの複合機を使用しているため、全体的な複合機の使用状況がよくわからない

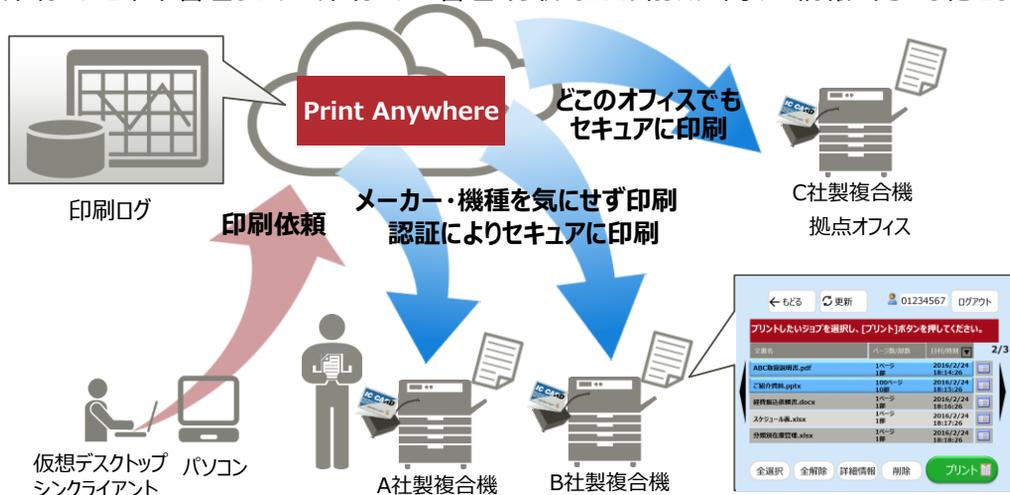


注1：Virtual Desktop Infrastructure
注2：NPO Japan Network Security Association

Print Anywhereとは

クラウドを基盤としたマルチベンダーに対応した出力環境とセキュアな印刷を実現する印刷サービスです

- 利便性が上がります 場所や複合機メーカー・機種を問わず、どこにでも印刷できます
- 運用管理が楽になります TCOのうち、プリンタ設定に関わる運用コストを削減します
- セキュリティが向上します 印刷物の取り間違え・置き忘れ・紛失によるリスクを軽減します
- 印刷ログを集中管理します 印刷ログの管理・分析でコスト削減に向けた情報の見える化をします



Print Anywhereが提供する機能

機能1：複合機共通のプリンタドライバ

出力先の複合機に依存しないプリンタドライバ



モノクロ/カラー・両面・2up・ステープル・穴付けなどの印刷属性を指定して印刷

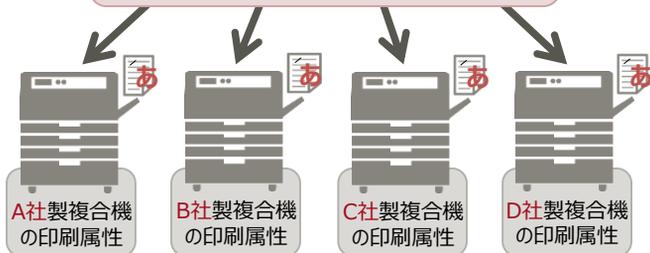
Print Anywhere 共通プリンタドライバ



1つのプリンタドライバで
どのメーカーの複合機にも対応

Print Anywhere

どのメーカーの複合機で印刷しても
印刷結果は変わらない



機能2：管理機能

Webブラウザで、複合機を一括管理するコンソール

複合機情報の登録・変更・削除などを、Webブラウザで一元管理できます。

機能3：複合機操作画面

複合機共通の印刷ジョブの操作パネル

メーカーや機種がバラバラでも、複合機に表示される画面を統一できます。(※)

機能4：印刷ログ

登録済の複合機の使用状況をすべて把握できるログ

印刷ログを参照することで、いつ・誰が・どの複合機に・何を・どのように印刷したかを確認できます。

(注) 複合機に追加オプションが必要です。

メニュー内容と提供価格

基本サービス

項番	型名	品名	商品内容	金額	備考
(1)-1	SVUB-PA00	Print Anywhere 初期導入 テナント設定 (一括払)	お客様環境を構築するサービス	110,000円	
(1)-2	SVUB-PA01	Print Anywhere 基本サービス (月額払)	「印刷環境」「複合機管理機能」「運用サポート」などを提供 <複合機10台、ストレージ10GB>	80,000円	-
(1)-3	SVUB-PA02	Print Anywhere 利用者ライセンス (月額払)	利用者ライセンスを提供 <20ID>	10,000円	21ID以降は、1ID単位(500円)で追加可能

オプションサービス

項番	型名	品名	商品内容	金額	備考
(2)-1	SVUB-PA03	Print Anywhere 複合機追加オプション (月額払)	複合機を10台単位で追加 <10台>	50,000円	手配条件：「(1)基本サービス」を導入済みまたは同時手配のこと
(2)-2	SVUB-PA04	Print Anywhere スプール容量追加オプション (月額払)	印刷待ちとするドキュメントの容量を10GB単位で追加	5,000円	
(2)-3	SVUB-PA05	Print Anywhere サポートサービス (月額払)	基本サービスに含まれるメールでの問い合わせ受け付けに加え、電話での問い合わせを受け付けるサービス (月曜～金曜 9時～17時 <日本時間>)	個別見積	
(2)-4	SVUB-PA06	Print Anywhere 導入支援サービス (一括払)	Print Anywhere 基本サービスの導入教育を提供	個別見積	



V-DaaSは、お客様専用の仮想デスクトップ基盤（VDI）を、ネットワーク経由でご提供するサービスです。小規模（最少20名）から、安価に、短期間でご利用いただけます。

お客様の課題とV-DaaSの利用効果

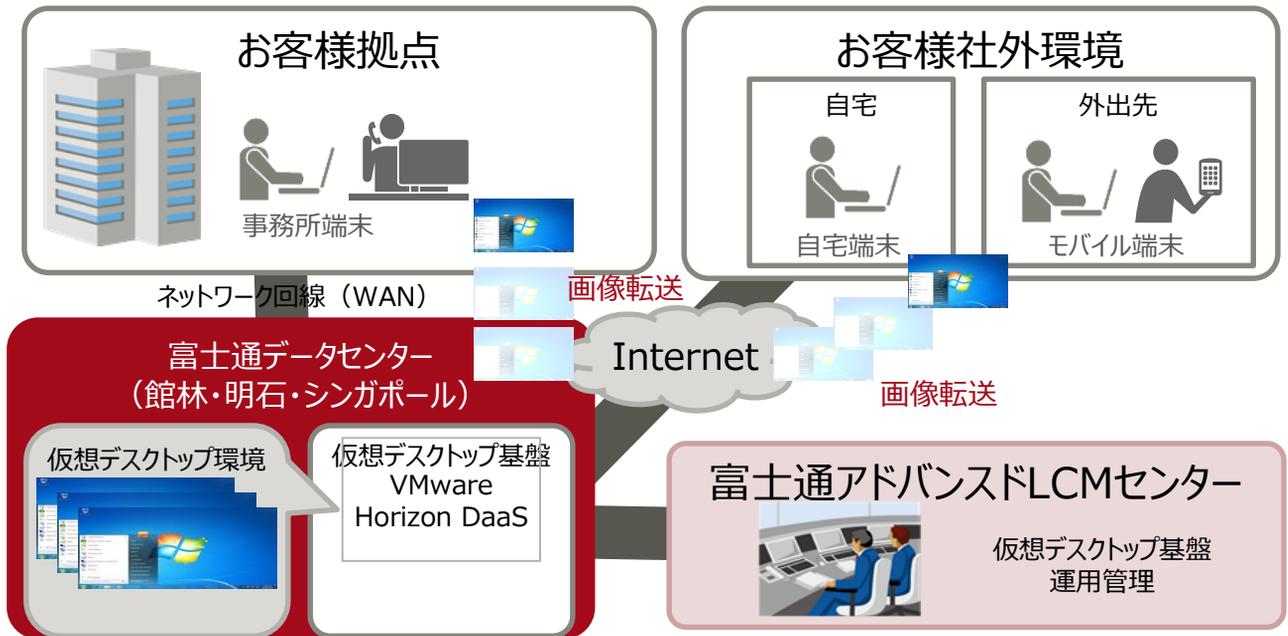
課題

- ワークスタイル変革や業務継続性の向上を目的に、社員が社外や自宅でも業務できるようにしたいが、セキュリティが不安
- 利用者端末のセキュリティ強化と利便性向上を両立させたいが、利用者任せでは徹底は難しく、管理・運用の負荷が高まるばかり
- 仮想デスクトップ基盤でセキュリティ強化と利便性向上が両立できるが、構築のためのお金・時間が必要

効果

- サーバ側でアプリ、データが管理されているため端末にデータを保存することがなく、セキュリティ問題が解決可能。端末は画面だけを受け取ればよく、管理が容易
- 管理者は、専用のWebサイトでOSやアプリケーション、パッチの一元管理ができるので、運用負荷が軽減。
- 富士通データセンターに設置した仮想デスクトップ基盤をネットワーク経由でサービスとして提供するため、お客様の構築は不要で、短期間・安価に利用可能

V-DaaSのサービス概要



お客様のメリット

- 【定額料金】 サービスメニューはシンプルで安心な定額料金（月額払い）でのご利用が可能です。
- 【短期導入】 ご契約から最短5営業日でのご利用が可能です*。最短3ヶ月からのご利用が可能です。
- 【簡単運用】 管理者用のWebサイトで、お客様自身での運用と管理が可能です。また、富士通の運用サポートサービスと組み合わせて、簡単かつ安心な運用を実現します。

* お客様にご準備いただくネットワークやActive Directoryの状況によります。

基本サービス（スタティックデスクトップICT災害対策付、スタティックデスクトップ、ダイナミックデスクトップ、リモートアプリケーション）

デスクトップポータル（利用者画面イメージ）

利用者は社内や社外、どこからでも利用できます

管理者ポータル（管理者画面イメージ）

- ・利用者と仮想デスクトップ基盤の状況確認
- ・利用履歴をダウンロード
- ・利用者の追加/削除/変更

管理者は状態確認や利用者管理などの機能を利用できます

オプションサービス（全25種）

運用変更オプション

- 仮想基盤冗長化
- マスタ追加 +1マスタ
- 管理者24時間サポート
- 仮想PCウィルス対策
- 手のひら静脈認証ログオン

他8種

ネットワーク強化オプション

- WAN接続環境冗長化
- インターネットVPN接続
- データセンター構内接続
- インターネットアウトバウンド
- ラックスペース拡張 +1U

他3種

リソース強化オプション

- vCPU追加
- CPU性能向上 + 15%
- メモリ追加 + 1GB
- ディスク追加 + 10GB

標準価格（詳しくは富士通営業または販売パートナーにお問い合わせください）

※月額サービスについては数量に応じた標準価格をご用意しております。

基本サービス（スタティックデスクトップ）

※すべて手配必須

（税抜）

品名	型名 (館林DCの場合)	数量	初期費		月額費		備考	
			単価	小計	単価	小計		
標準価格合計（最小構成）			¥ 200,000		¥ 102,000			
初期導入サービス	テナント初期設定	SV7VD211AA	1	¥ 180,000	¥ 180,000	-	-	
	仮想PC設定	SV7VD212BA	20	¥ 1,000	¥ 20,000	-	-	
基本サービス	SV7VD121CA	20	-	-	¥ 5,100	¥ 102,000		

富士通おすすめのオプションサービス（抜粋）

※ディスク追加は初期導入時のみ手配可

（税抜）

品名	型名 (館林DCの場合)	数量	初期費		月額費		備考
			単価	小計	単価	小計	
管理者24時間サポート	SV7VD135CA	20	-	-	¥ 900	¥ 18,000	
仮想基盤冗長化	SV7VD131CA	20	-	-	¥ 1,800	¥ 36,000	
仮想PCウィルス対策	SV7VD24CAA	1	¥ 100,000	¥ 100,000	-	-	
	SV7VD13CCA	20	-	-	¥ 1,160	¥ 23,200	
インターネットVPN接続	SV7VD249AA	1	¥ 300,000	¥ 300,000	-	-	
	SV7VD139CA	20	-	-	¥ 1,560	¥ 31,200	
ディスク追加 +10GB	SV7VD125CA	20	-	-	¥ 450	¥ 9,000	

※ 別途、ネットワークおよびWindows VDA（Virtual Desktop Accessの略。サーバ上で起動するクライアントOSを遠隔から接続して利用するための、Microsoft社のライセンス）が必要です。



IDリンク・マネージャー II は、厚生労働省より示されている、「賃金不払残業の解消を図るために講ずべき措置等に関する指針」に対応するためのソリューションです。既存の勤怠管理システムと連携して、お客様従業員によるパソコン利用を管理・制御することができます。

【ここがポイント】

- ①ムダな残業を抑制し、コストダウン
- ②勤務実態の把握により、適切な労働環境を実現（労基署・かたく対策など）
- ③勤務時間外のPC利用警告・抑止（強制シャットダウン可）

就労に関する動向（厚生労働省の動き）

■ 改正労働基準法施行（2010年4月）

- ・時間外労働の割増賃金率の引上げ …… 各都道府県の労働基準監督署が年間約14万件の事業所を臨検（立入調査）し、法律が遵守されているかチェック
- ・割増賃金引上げなどの努力義務

ムダな残業を抑制しないとコストアップへ

■ 賃金不払残業（いわゆるサービス残業）解消への取組み

〔適正に労働時間の管理を行うためのシステム整備〕（2003年5月～）

〔厚生労働省労働基準局発 0523004号〕

「出退勤時刻や入退室時刻の記録、事業場内のコンピュータシステムへの入力記録等、あるいは賃金不払残業の有無も含めた労働者の勤務状況に係る社内アンケートの実施等により賃金不払残業の実態を把握した上で、関係者が行うべき事項や手順等を具体的に示したマニュアルの作成等により、『労働時間適正把握基準』に従って労働時間を適正に把握するシステムを確立することが重要である。

※厚生労働省は監督指導による賃金不払残業の是正結果を毎年公表。2014年度の割増賃金支払総額は142億円（前年度比19億円増）。

〔違法な長時間労働を繰り返す企業（ブラック企業）に対する指導・社名公表〕（2015年5月～）〔厚生労働省発表〕

長時間労働に係る労働基準法違反の防止を徹底し、企業における自主的な改善を促すため、社会的に影響力の大きい企業が違法な長時間労働を複数の事業場で繰り返している場合、都道府県労働局長が経営トップに対して、全社的な早期是正について指導するとともに、その事実を公表する。

“勤務時間 = PC操作や、入退室を含む実働”の把握が必要

IDリンク・マネージャー II による対策イメージ

勤怠管理システム

勤怠管理サーバ



勤怠情報の取り込み(※)

※CSVで勤怠情報の取込みが別途必要となります。

IDリンク・マネージャー II



PCログオン、ログオフ時間と勤怠情報の反映が可能

利用者PC

Aさん
あなたの本日の勤務予定時間は
09:00 ~ 19:00 です
勤務予定時間を過ぎていますので、
すみやかに業務を終了し退出してください。

**勤怠情報と連動し
警告表示 or ログオフ**

勤務時間外のPC利用を
抑止する環境の構築

従業員の時間外労働に対する意識改善・生産性向上

勤怠打刻時間外のPC 操作を抑止

過重労働を見直し、仕事と生活の調和を図る

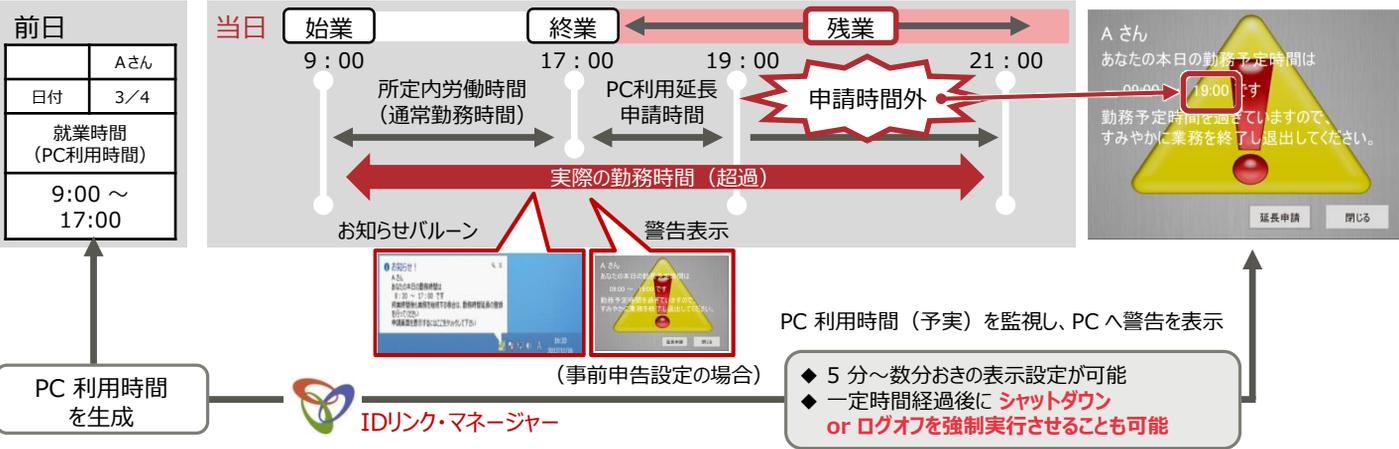
… コスト削減対策

… コンプライアンス

… ワークライフバランス

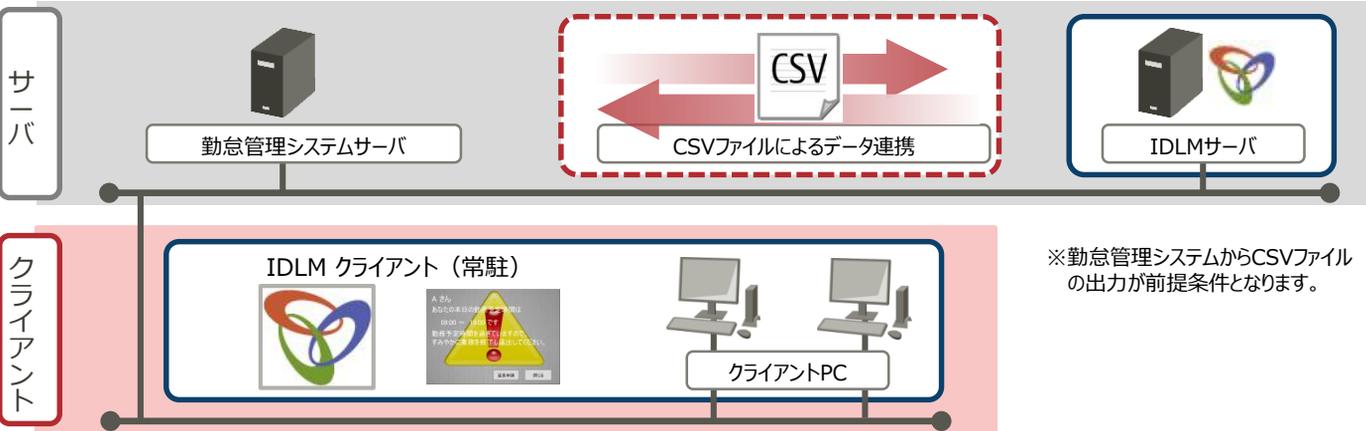
勤務時間外のPC利用警告・抑止（強制シャットダウン可）

PC利用の抑止方法



システム構成と参考価格

システム構成



参考価格

<ライセンス価格>

品目名	標準価格 (税別)
IDリンク・マネージャー-II V1 基本(50ユーザー付)	¥442,500
(100ユーザー付)	¥570,000
(300ユーザー付)	¥1,065,000
(500ユーザー付)	¥1,500,000
(1000ユーザー付)	¥2,550,000
IDリンク・マネージャー-II V1	¥300,000
(追加サーバライセンス)	
(追加50ユーザーライセンス)	¥142,500
(追加100ユーザーライセンス)	¥270,000
(追加300ユーザーライセンス)	¥765,000
(追加500ユーザーライセンス)	¥1,200,000
(追加1000ユーザーライセンス)	¥2,250,000
IDリンク・マネージャー-II V1メール連携オプション (ユーザー数分)	¥800

<サービス>

企画・設計・導入・運用・保守

IDリンク・マネージャー II インフラ基盤設計/構築サービス

IDリンク・マネージャー II 基本設計/構築サービス

IDリンク・マネージャー II スタートアップサービス

IDリンク・マネージャー II プログラムサポートサービス※初年度より必須

※その他、お客様のご要望をお伺いしたうえで、個別見積りとさせていただきます。

<導入実績>

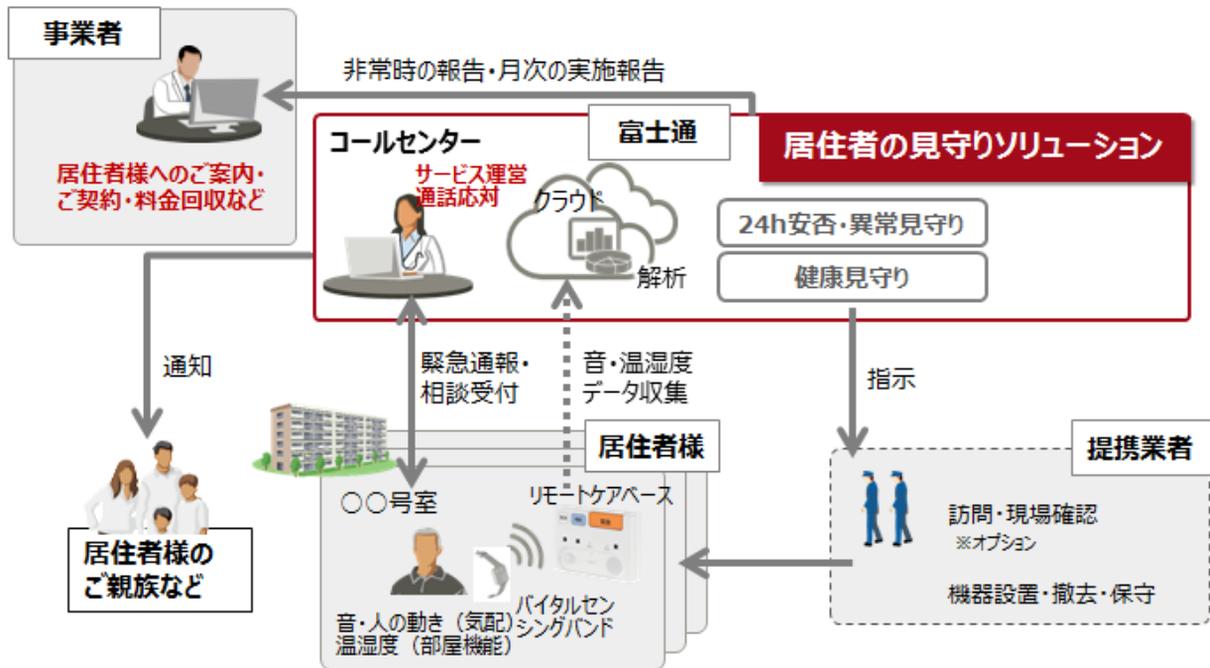
40社約 70,000CL ※2016年4月現在		
建設業	A 社様	18,000CL
百貨店	B 社様	5,000CL
不動産業	C 社様	1,300CL
食品メーカー	D 社様	500CL
金融業	E 社様	200CL



IoTを活用して居住者の生活の様子を24時間見守り、安心して暮らせる住まいづくりや高齢者ケアをサポートする「FUJITSU IoT Solution UBIQUITOUSWARE 居住者の見守りソリューション」を提供します。

利用イメージ

富士通独自の「コビキタスウェア センサーアルゴリズム」を活用し、居住者宅内の生活音の有無や人の動きなどの情報から居住者の状況把握を行い、安心安全な生活をサポートする様々なサービスを提供（注1）します。

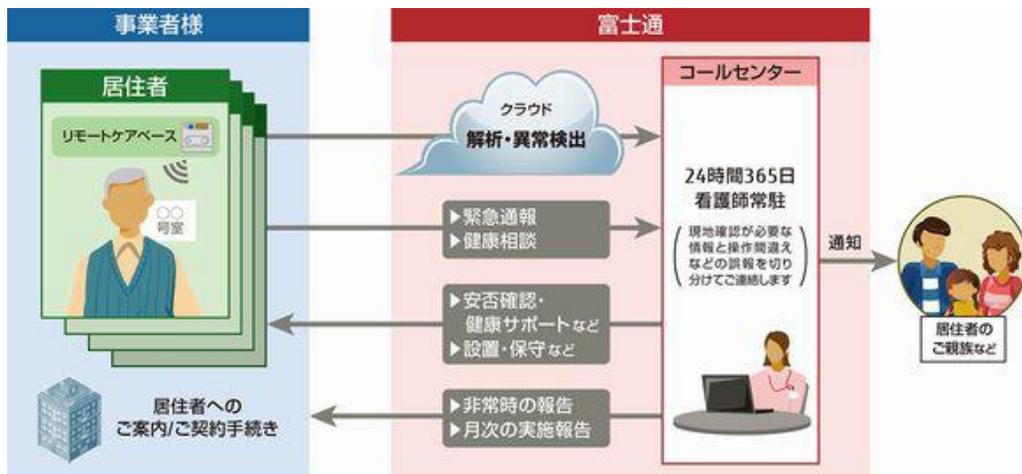


- 事業者 : 本サービスを行なう事業者
 居住者様 : 本サービスを受ける高齢者等のエンドユーザー
 提携業者 : 訪問による安否確認などの依頼先

構成イメージ

本ソリューションは、電源とネットワーク設定のみで利用ができ、配線工事が不要なため、新築・既築問わず容易に導入することができます。

居住者宅内に設置する「リモートケアベース」は、貸し出す形式で提供するため、居住者の購入手続きも不要です。また、24時間365日対応するコールセンターは、緊急通報受付事業で約30年の実績がある当社グループのコールセンターを利用するため、事業者側での設置は不要です。これらにより、見守りサービス事業の迅速な立ち上げが可能です。



利用シーン

センシング情報を収集し分析する事による安否確認から、一日を通じた健康管理や生活のちょっとした困りごとを解決するまで、居住者様を総合的に見守ります。

自治体： 高齢者が安心して暮らせるまちづくり **住宅業：** 高齢者が安心して暮らせる住まいを提供 **介護施設：** 巡回などの異常確認の省人化（介護者の負担軽減）

**居住者様に好まれる
プライバシーに配慮した見守り**

音と動きから、安否を確認。訪問やカメラでの監視や、サービス職員の訪問による安否確認を好まない高齢者も受け入れやすい



異常が検知できる

就寝中などは通常起こりえない大きな音を検出すると通知。転倒などの異常の可能性を迅速に知ることができます



**緊急時にはボタンを押すだけで
コールセンターへ通報**

ボタンひとつで、万が一の際にも即座に連絡を取ることができます



基本サービスメニュー概要

初期導入サービス

居住者様が本サービスを利用できるよう、当社サービス環境や機器の設定・設置を行います。

基本サービス

■ センシング安否見守り

生活音や気配の有無、異常音、部屋の熱中症レベルを見守ります。異常検出時には、コールセンターがリモートケアベースのVoIP通話を介して状況確認し、必要に応じて居住者様のご家族等にご連絡します。



■ お元気コール

定期的に状態を確認するため、コールセンターから電話でお問い合わせします。記録してある咳やいびきなどのデータを基に、状態を確認します。



■ 緊急・相談通報受付

24時間365日、緊急通報を受付け、真報・誤報を切り分けて消防本部や協力員等にご連絡します。健康相談は、記録した咳やいびき等のデータを元に看護スタッフがご対応します。



■ 機器レンタル（リモートケアベースセット）

本サービスを利用するにあたり必要となる、リモートケアベースやアタッチメント一式をレンタルにて提供します。



基本サービスメニューの他に、「訪問安否確認」や「バイタルセンシングバンドレンタルセット」などの「オプションサービスメニュー」もご用意しております。

販売価格

ソリューション名	販売価格
居住者の見守りソリューション	個別見積

注1 安心安全な生活をサポートする様々なサービスを提供：

本サービスは、見守り対象者の住居などに設置したリモートケアベースの反応状況が一定の設定値を超えた場合や、居住者および家族からの通報を受けた場合に状況確認を行うものであり、以下の内容を含むものではなく、見守り対象者の安全や健康状態、緊急事態の通報や救済を確約、保証するものではない。

- a. 警備業法第2条第1項第1号および同項第4号に規定する行為
- b. 医師法または保健師助産師看護師法で定める許認可が必要となる行為



外部からの攻撃や社員による情報の持ち出し、PCの盗難・紛失・廃棄など、企業の重要データは、常に思わぬ危険にさらされています。FUJITSU Security Solution FENCE-Proを導入して暗号化セキュリティ基盤を整備することで、社内や社外で利用する重要データの情報漏えい対策を確実に実現できます。

今回、標的型攻撃やランサムウェアの対策のため、下記3つの機能を提供開始しました。

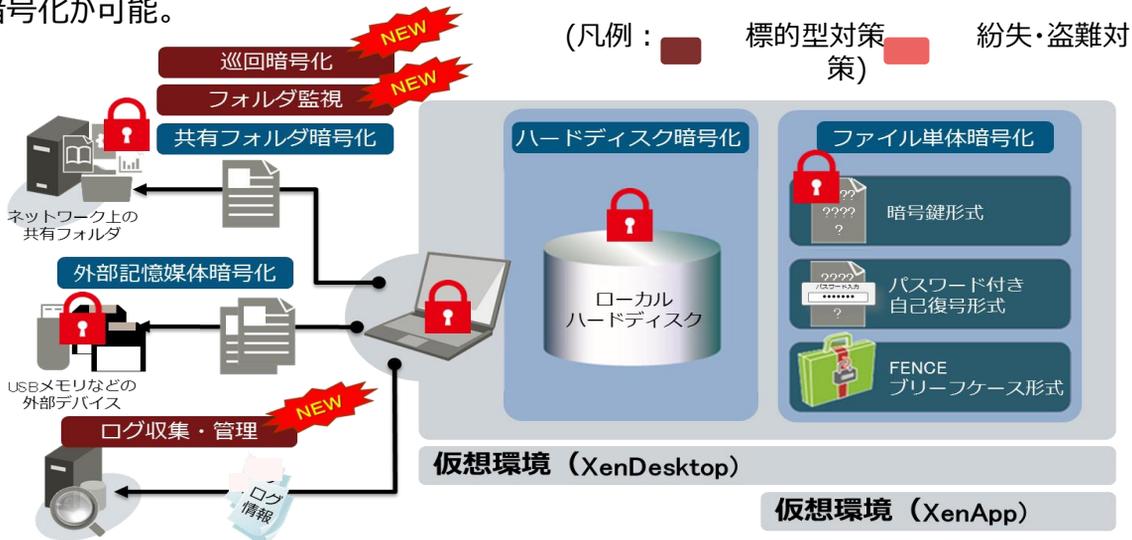
【ここがポイント(今回の機能強化ポイント)】

- ①標的型攻撃出口対策対応 (巡回暗号機能)
- ②標的型攻撃侵入経路検知 (ログ取得機能)
- ③ランサムウェア対策機能 (マルウェア監視機能)

FENCE-Pro概要

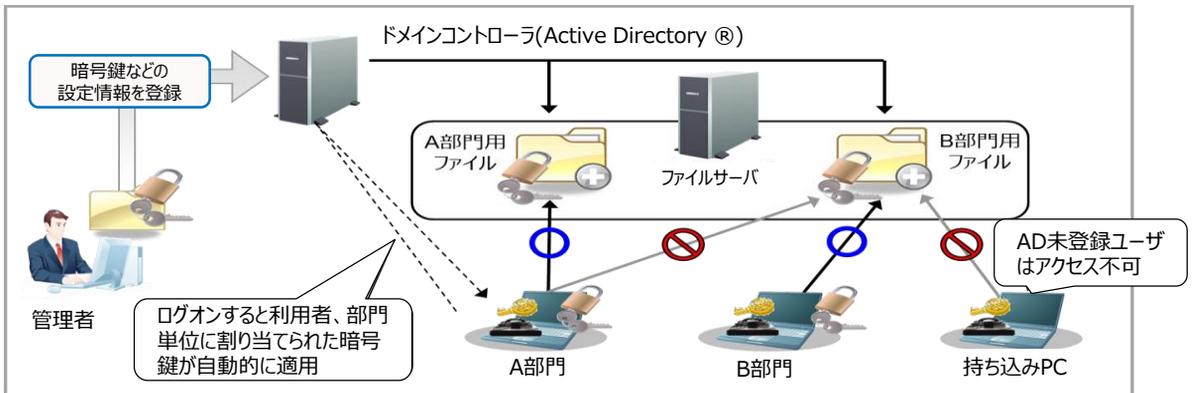
① 簡単・確実に暗号化

- パソコンのローカルディスク、サーバ、ネットワーク上の共有フォルダやUSBメモリなどに格納されたデータを自動的に暗号化 (利用者の特別な操作は一切不要)。
- AES暗号方式 (256bit) の暗号アルゴリズムを実装し、利用者に暗号化を意識させない自動暗号化が可能。



② 容易な導入・運用

- Active Directory®との連携により、利用者やグループ単位にポリシー自動配布が可能。
- Citrix®の仮想化ソリューション (XenDesktop®, XenApp®) との連携が可能。



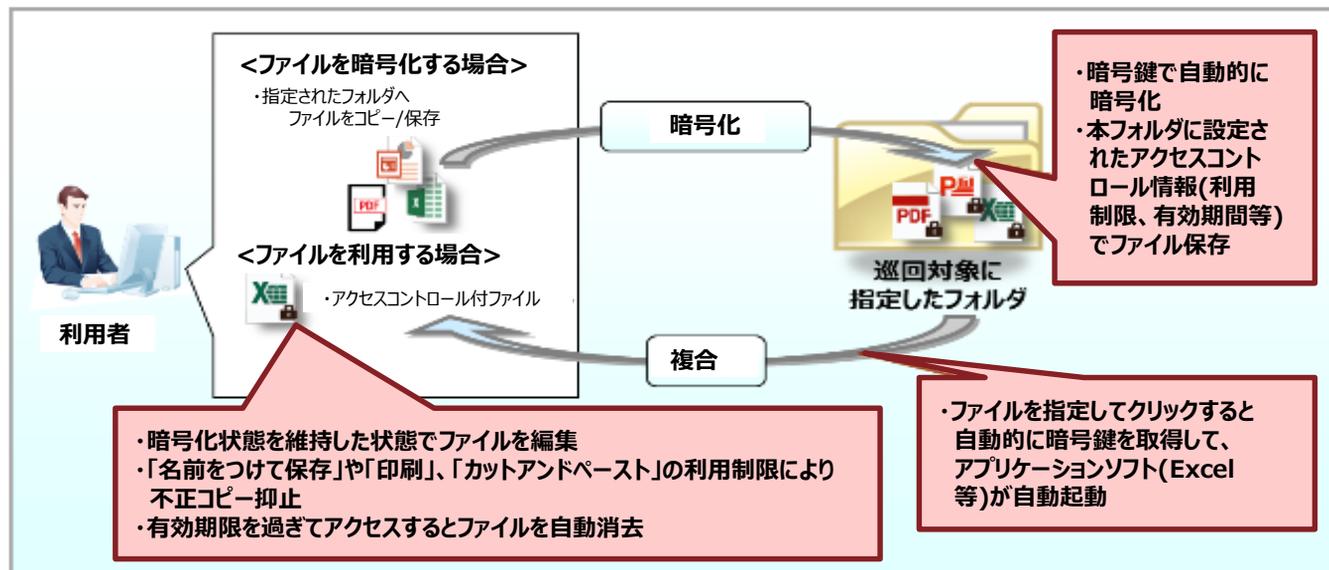
重要なデータは共有サーバで安全に暗号化管理！ ADにて一元管理も可能！

① 標的型攻撃出口対策対応（巡回暗号機能）

暗号ソフトウェアFENCE-Pro V8に巡回暗号(※1)を追加します。本機能は、従来のFENCE-Pro V8のレベルアップ版（V8L4）で提供します。

また、サーバ（Windows(R)Server）上で実現できるサーバ用ソフトウェア「FENCE-Pro Server V8」も新規に提供します。

※1 巡回暗号とは：FENCE-Proが常駐してドライブ内を巡回し、巡回暗号の対象に指定したフォルダにファイルが作成・コピーされた場合に、ファイル単位に暗号化する機能です。



② 標的型攻撃侵入経路検知（ログ取得機能）

特定フォルダへのアクセスやファイル暗号化操作などログ収集・管理を行います。

ログ分析のほか、アラート通知機能を備え、ポリシー設定の範囲を越えた想定外のアクセス（WHITE LISTに登録していないアプリのアクセス）を検知した場合に管理者に通知することも可能です。

※本機能の提供には、オプションソフトウェア「FENCE-Pro V8ログ収集」が必要です。

③ ランサムウェア対策機能（マルウェア監視機能）

特定のフォルダに対して、許可していないアプリケーションのアクセスを禁止します。

※本機能の提供には、オプションソフトウェア「FENCE-Pro V8ログ収集」と「FENCE-Pro V8ログ収集 マルウェア監視」が必要です。

動作環境

PC 動作環境 (対応OS)

Windows®10 Pro
Windows®10 Home
Windows®10 Enterprise
Windows®10 Education
Windows® 8.1
Windows® 8.1 Pro
Windows® 8
Windows® 8 Pro
Windows® 7 Home Premium SP 1
Windows® 7 Professional SP 1
Windows® 7 Enterprise SP 1
Windows® 7 Ultimate SP 1

Windows Vista® Home Basic SP2
Windows Vista® Home Premium SP2
Windows Vista® Enterprise SP2
Windows Vista® Business SP2
Windows Vista® Ultimate SP2

サーバ動作環境 (対応OS)

Windows Server® 2008 R2
Windows Server® 2012
Windows Server® 2012 R2



FireEye NX Essentialsシリーズ (以下、FireEye NX Essentials)は、FireEye社製脅威対策プラットフォームであるFireEye NXシリーズの低価格版「標的型攻撃対策アプライアンス製品」です。

【ここがポイント】

- ①従来製品と同等の性能をもち、低価格化（従来比約50%オフ）を実現した製品を追加しました。
- ②ネットワークのミラーポートに接続するだけで、高度で複雑な手法を用いるAPT※などの標的型攻撃を検知することが出来ます。
- ③ネットワーク構成変更が不要なため、トライアル導入で手軽にFireEyeの価値を体感いただけます。

※APT：Advanced Persistent Threatは、標的型攻撃の一種に分類されるサイバー攻撃です。

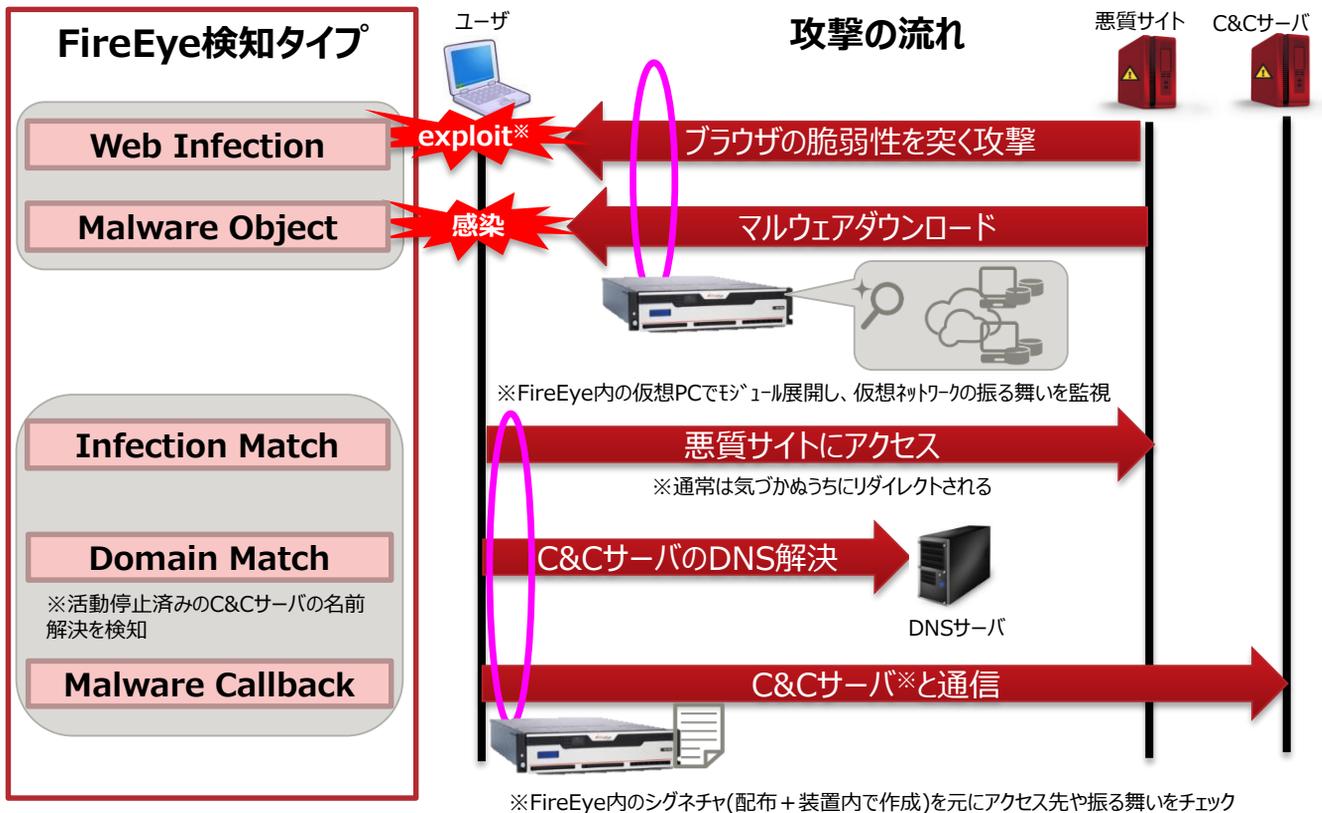
このような悩みを「FireEye NX Essentials」が解決します！

- 高度で複雑な手法を用いるAPTなどの標的型攻撃の脅威を早期発見したい
- サンドボックス※製品をすり抜けるような新たな攻撃に対して、本当に対策が取れるか不安
- たくさんのアラートにより、本当に重要なアラートを見逃さないか不安

※サンドボックス：保護された領域内でプログラムを動作させることで、その外へ悪影響が及ぶのを防止するセキュリティモデル。

FireEye NX Essentialsによる標的型攻撃対策とは

FireEye NX Essentialsは、既存の社内スイッチ機器に接続する(ミラーポート接続)だけで、Web通信を経由して侵入してくる脅威や、感染した端末からの不正な通信を検知可能な標的型攻撃の対策アプライアンス製品です。FireEye NX Essentialsで使われるMVXエンジンは、多くのサンドボックス型標的型攻撃対策製品が行っている、ファイル単体の検査ではなく、攻撃の一連のフローを解析し、攻撃のステップにあわせたアラートを上げます。攻撃のステップは、そのまま重要度にもなっており、本当に必要なものに絞って対策を採ることが出来ます。

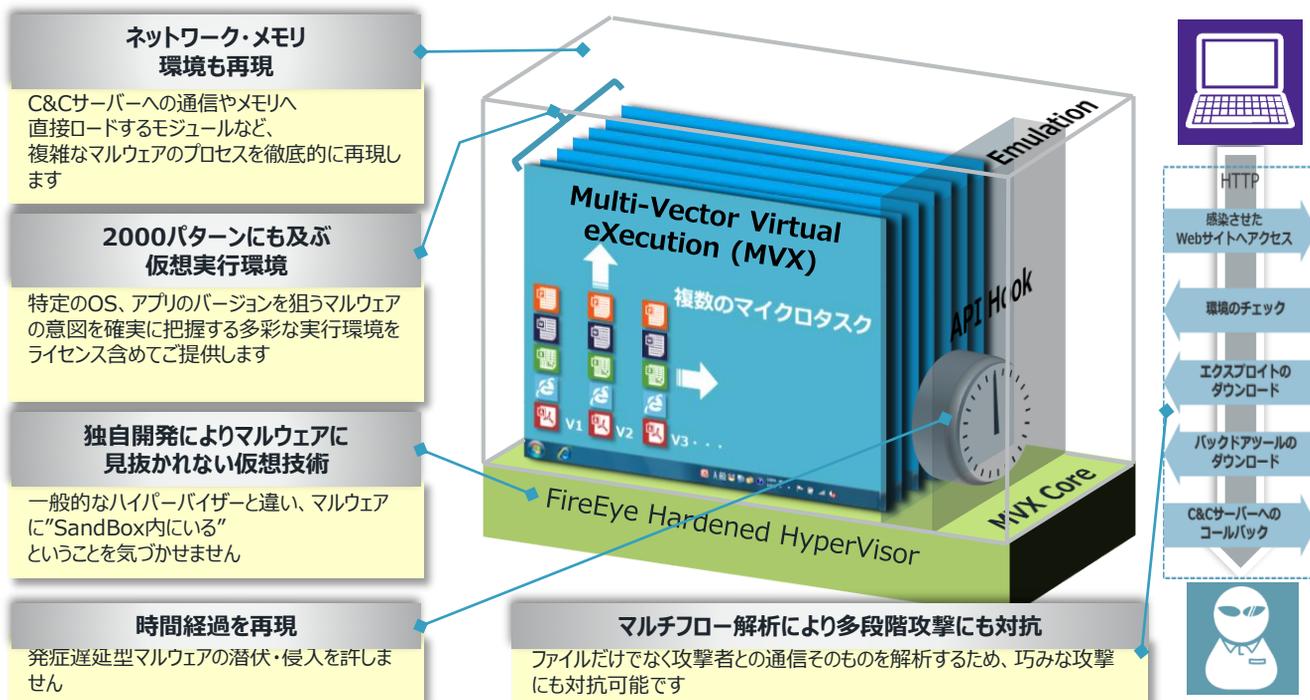


※ C&Cサーバ：コマンド&コントロールサーバの略。攻撃者は、C&Cサーバを用意し、そのサーバを使って、遠隔操作をし、情報窃取や、より高い権限を持つ端末への侵入等を実施する。マルウェアに感染した端末は、C&Cサーバと接続するために、コールバック通信を行います。

※ exploit：エクスプロイトは（悪意ある）プログラムであり、その中に含まれるデータや実行可能コードが、ローカルコンピュータやリモートコンピュータで動作するソフトウェアの脆弱性を悪用します。

FireEye NX Essentialsの特徴

他社のサンドボックス製品に無い以下の特徴があり、高度で複雑な攻撃であっても、検知することができます。



これらの技術を駆使し、対象のExploitやObjectを実行した結果を詳細に解析できるため、誤検知が少なく、確実に攻撃を検知

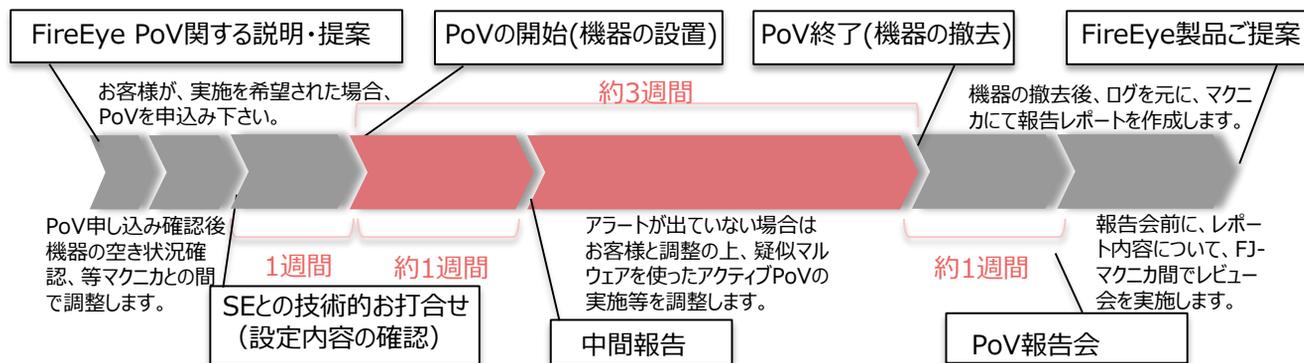
IPCOM EXシリーズ連携 ～検知した脅威をIPCOMで防御～

■ C&Cサーバとの通信を遮断することで、情報漏えいを防止します。

- FireEye NX Essentialsで未知の脅威を検知し、通信先のC&Cサーバ情報をアラートとして通知
- IPCOM EXシリーズ(LB除く)と連携し、インターネット出口のIPCOMで、コールバック通信の遮断が可能

トライアルによるFireEyeの価値の体感

標的型攻撃対策ソリューションであるFireEyeをお客様環境に3週間程度導入させて頂き、FireEyeの提供するソリューション（シグネチャでは検知することのできない未知の攻撃や高度な標的型攻撃を検知するソリューション）を体感頂けます。



※PoV (Proof of Value) : 導入前検証(PoV)として無償トライアルおよび標的型攻撃の診断サービスを提供している。

価格例(標準価格)

■ 従来製品

NX2400 Essentials
(本体+DTI 2-way 1年ライセンス)

¥5,658,660

約60%
OFF

■ 今回提供製品

NX2500 50Mbps Essentials
(本体+DTI 2-way 1年ライセンス)

¥2,265,300

※ : SDK保守が別途必須となります。

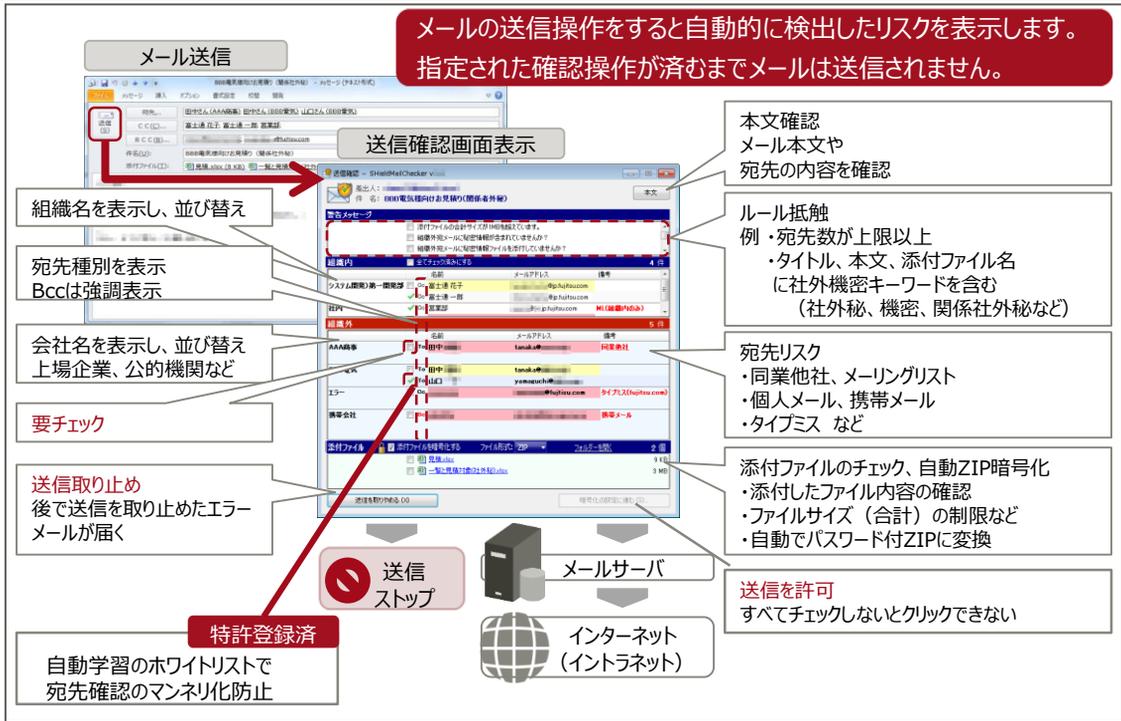


FUJITSU Security Solution SHieldMailChecker 誤送信防止は、メール送信時に、送信先アドレスのミスや添付ファイルの誤りなど送信リスクの再確認を促すことで、メールの誤送信を未然に防止するソリューションです。「うっかりミス」による情報漏えいを防ぐことができます。

【ここがポイント】

- ①クライアントへ導入するだけで、対策が完了します。
- ②送信確認画面にて、検出したリスクだけでなくメール本文や添付ファイルの内容も最終確認できます。

SHieldMailChecker誤送信防止概要



特長

- 既存サーバ環境のまま、短期間で簡単導入
 - ・SMTP プロトコルを利用する主要メールソフトに対応し、クライアントへ導入するだけで適用完了 (マニュアルに従い、お客様自身でご導入いただけます。)
 - ・コミュニケーションプラットフォームとして人気の高い **Microsoft Exchange Server** および **Office 365** に対応

- 共通ポリシーにより、メール送信に関する組織内ルールを統一
 - ・製品同梱のサンプルポリシーを元に、組織共通ポリシーを設定して配付可能
 - ・メール送信時にポリシー違反/抵触を警告し、セキュリティレベルを統制

【ポリシーの定義例】

- 社外に送信する場合、宛先確認が必要
- 宛先が20件以上の場合、警告を表示
- 件名、本文、添付ファイル名に注意すべきキーワード (社外秘等) を含む場合、警告を表示
- 本文、添付ファイルを再確認しないと送信不可
- 宛先が200件以上の場合、送信をブロック

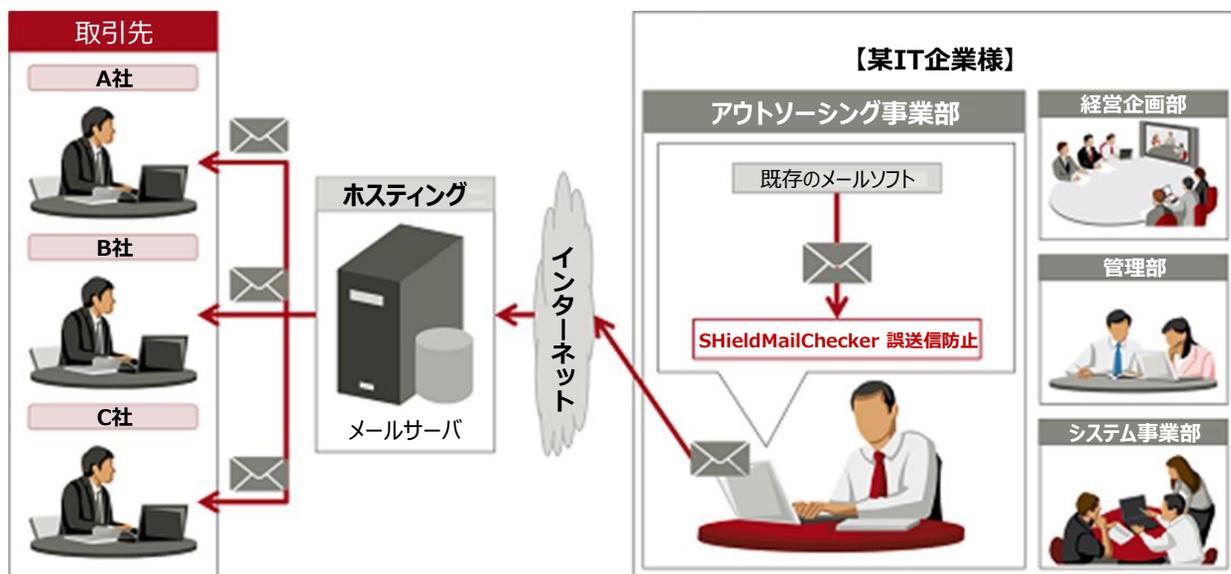
- 慣れによる見落としを抑止 **自動学習ホワイトリスト** **特許登録済 (注1)**
 - ・利用者ごとの送信行動を統計分析し、最近よく送る宛先をホワイトリストに自動登録
 - ・過剰な警告を抑止し、利用者の慣れによるチェック効果の低下を防止
 - 注1: 株式会社富士通研究所と株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリによる共同登録

- Outlookの一部のような操作感
 - ・メール編集と誤送信リスク確認の切り替えがスムーズ
 - ・会議出席やタスクなどの各種依頼をする際も宛先確認画面を表示

- ストレージサービスと連携し、添付ファイルのセキュアな送信が可能※
 - ・メールに添付されたファイルを自動的に分離し、メール本文とは別経路 (https通信) で送信することが可能
 - ※別途Confidential Postingのご契約および設定が必要です。Confidential Postingは富士通FIPが提供する暗号化ファイル伝送ツールです。

- 豊富な導入実績
 - ・富士通グループ内利用含めて460社以上、約22万ユーザーが利用 (2017年3月現在)

導入事例



導入前の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・同部では、取引先との情報のやり取りを、主にメールにて実施している。 ・1人の担当者が複数の取引先を担当しており、複数の宛先にメールを同時配信することも頻繁に起こる。 ・メールによる情報漏えいについては、添付ファイルの暗号化、アドレスの直入力禁止などの送信者による人為的な対応が中心であった。
導入の狙い	メール誤送信による情報漏えいのリスクを従来以上に減少させるため、体系的な対応を実施したい。
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・メール送信宛先が、社内外の区別/所属組織/リスクによる分類整理ができ、視覚的に表示されることでメール利用者に的確に気づきを与え、誤送信防止に効果的である。 ・サーバ導入不要で、クライアントへの導入により適用完了するため、既存のメール環境を維持したまま段階的導入が可能である。 ・ホワイトリストの自動学習機能により、過剰な警告を抑止し、慣れによる実効性低下が防止される。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ・不注意やうっかりミスによるメール誤送信のリスクを効果的に低減できた。 ・メール利用者が安心感を持って、メール送信できるようになった。 ・メール利用者ひとりひとりのセキュリティ意識が向上した。

動作環境/対応言語

対応プロトコル	SMTP※1、MAPI(接続先：Microsoft Exchange Server 2010/2013/2016)	
動作確認済みのメールサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ SMTP：sendmail[8.13]、Postfix[2.3]、qmail[1.03] ■ MAPI：Microsoft Exchange Server[2010][2013][2016]、Office 365(Microsoft Exchange Online) ※2 	
クライアントPC	OS	Windows 7 SP1以降 (32bit/64bit)、Windows 8.1(32bit/64bit)、Windows 10(32bit/64bit)
	必要ソフトウェア	.NET Framework 3.5 SP1以降
クライアントPC	確認済みメールソフト (括弧内は対応プロトコル)	<ul style="list-style-type: none"> ・AL-Mail32[1.13a](SMTP) ・Becky! Internet Mail [2.58.00](SMTP) ・Microsoft Outlook [2007 SP3](SMTP、MAPI)※3※4 ・Microsoft Outlook [2010 SP2](SMTP、MAPI)※3 ・Microsoft Outlook [2013 SP1](SMTP、MAPI)※3 ・Microsoft Outlook [2016](SMTP、MAPI)※3 ・Thunderbird[31.2](SMTP)※3 ・秀丸メール[5.70](SMTP)

※1 SSL/TLSには、対応していません。

※2 2017年3月現在のバージョンで動作確認済です。最新バージョンには順次対応していきます。

※3 Microsoft Windows の英語OS、英語版でも動作確認済です。

※4 Microsoft Outlook [2007 SP3](SMTP、MAPI)のサポートは、日本マイクロソフト社によるサポートの期限である2017年10月10日で終了します。

注) Confidential Postingの動作環境については富士通FIPIにお問い合わせください。

対応言語：日本語/英語（設定で切替可能）

※マニュアルについては日本語版・英語版をそれぞれご用意。

注) Confidential Postingと同時にご使用になる場合は、英語表示に対応していません

価格

パック名	ライセンス価格(税別)	年間保守料(税別)	備考
基本ライセンスパック10	45,000円	12,000円	10ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック50	180,000円	36,000円	50ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック100	300,000円	45,000円	100ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック10,000	20,000,000円	3,000,000円	10,000ユーザーまでご利用になれます。

【価格例】1,000ユーザの場合 ライセンス：3,000,000円 年間保守料：450,000円

各種基本ライセンスパックを組み合わせでご購入ください。



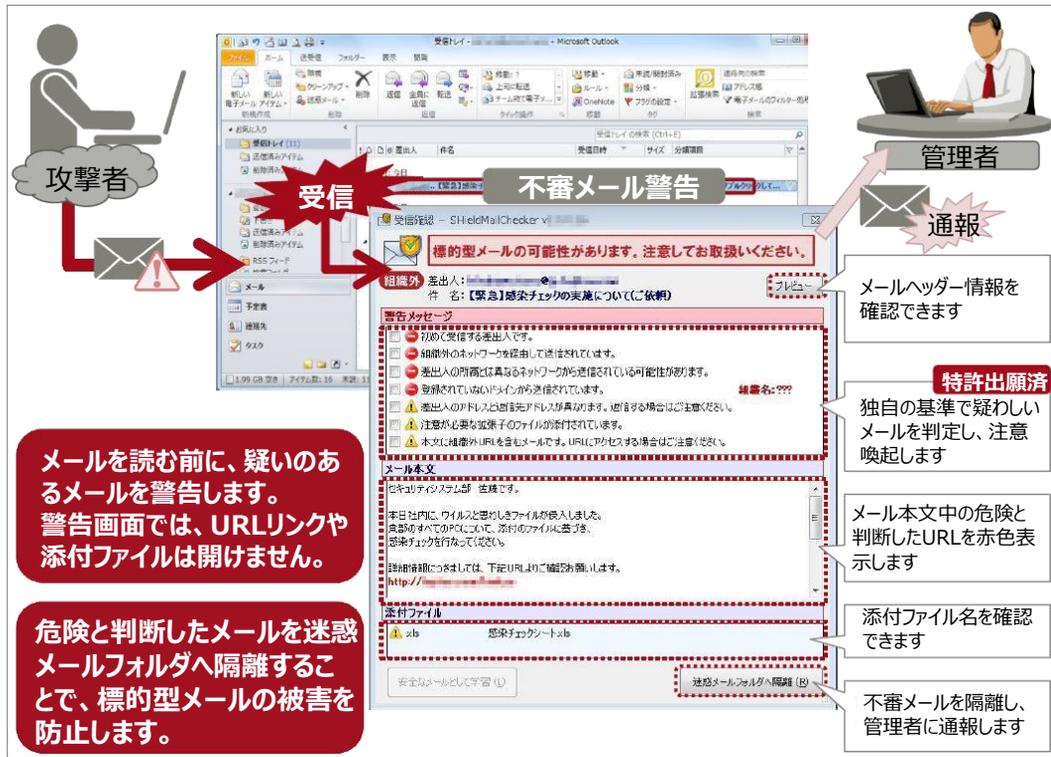
FUJITSU Security Solution SHieldMailChecker 標的型メール対策は、クライアントPCにインストールして標的型メール攻撃の対策を行うことができるソフトウェアです。標的型メールを読む前に警告／隔離することで、安全を守ります。

【ここがポイント】

- ① 疑わしいメールを判断／警告し、利用者が対処しやすくすることでセキュリティを強化します。
- ② 疑わしいメールを隔離することにより、標的型メールによる被害を防止します。

SHieldMailChecker 標的型メール対策概要

1. 標的型メールを読む前に警告・隔離し、社員の注意喚起を高めます
2. 人では判断が難しい不審メールを技術的に判断し内部侵入リスクを低減



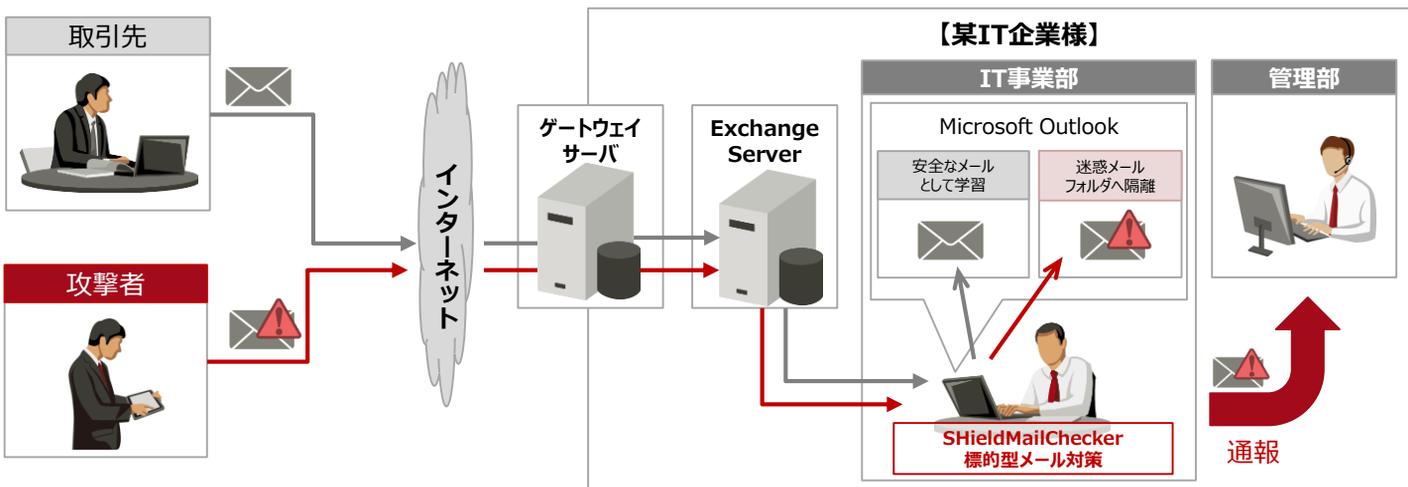
特長

- 独自の識別情報による、なりすまし防止 **特許出願済 (注1)**
 - ・メール送信時に、組織内共通の識別情報を付与し、なりすましを検知/警告します。
- 受信履歴を基にした差出人毎の特徴分析 **特許出願済 (注1)**
 - ・過去に受信したメールから差出人毎の特徴を学習し、送信経路の変化など普段と特徴が異なるメールを検知/警告します。(注2)
- わかりやすい警告画面で受信者に注意を喚起
 - ・危険度に応じ、レベル分けして警告を表示します。
 - ・メール本文中のURLリンクをホワイトリストなどと比較して、注意すべき場合は赤文字で表示します。
- 組織全体の標的型攻撃リスクを把握
 - ・利用者が隔離した不審メールを、管理者に通報します。
 - ・各社員の受信メールの傾向や隔離状況などをログに蓄積します。
 - ・ログをサーバーで集約することも可能です。

注1：富士通株式会社による出願

注2：ネットワークによっては適用できない場合がありますので、事前に評価版を試用してご確認ください。

導入事例



導入前の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・標的型メール攻撃が危険だとわかっているが、社員の端末（クライアント）にウイルス対策以外の対策は実施していない。 ・社員全体に標的型メール攻撃の危険性や見分け方の情報共有は行っていた。
導入の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・標的型メールに対する社員のセキュリティ意識を向上させたい。 ・社員が受信したメールと怪しいと判断する補助のために、メール情報を機械的にチェックしたい。
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・Outlookとのシームレスな連携で、メールを開く前にメール内容を安全に確認/隔離できる。 ・サーバ導入不要で、クライアントへの導入により適用完了するため、既存のメール環境を維持したまま段階的導入が可能である。 ・差出人毎のメール特徴学習機能により、過剰な警告が抑止される。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ・組織外から送信されたメールの、URLや添付ファイルを安易に開く回数が減った。 ・不審なメールに対する社員のリテラシー（セキュリティ意識）が向上した。

動作環境

対応プロトコル	MAPI(接続先 : Microsoft Exchange Server 2010/2013/2016)	
対応メールサーバ	Microsoft Exchange Server[2010][2013][2016]、Office 365(Microsoft Exchange Online) ※1	
クライアントPC	OS	Windows 7 SP1以降 (32bit/64bit) Windows 8.1 (32bit/64bit) Windows 10 (32bit/64bit)
	必要ソフトウェア	.NET Framework 3.5 SP1以降
	対応メールソフト	Microsoft Outlook [2007 SP3] ※2 Microsoft Outlook [2010 SP2] Microsoft Outlook [2013 SP1] Microsoft Outlook [2016]

※1 2017年3月現在のバージョンで動作確認済です。最新バージョンには順次対応していきます。

※2 Microsoft Outlook [2007 SP3] のサポートは、日本マイクロソフト社によるサポートの期限である2017年10月10日で終了します。

価格

パック名	ライセンス価格(税別)	年間保守料(税別)	備考
基本ライセンスパック10	45,000円	12,000円	10ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック50	180,000円	36,000円	50ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック100	300,000円	45,000円	100ユーザーまでご利用になれます。
基本ライセンスパック10,000	20,000,000円	3,000,000円	10,000ユーザーまでご利用になれます。

【価格例】1,000ユーザの場合 ライセンス： 3,000,000円 年間保守料： 450,000円
各種基本ライセンスパックを組み合わせでご購入ください。



「Portshutter Premium」は、不正なデバイスやネットワークを使わせないパソコンの情報漏えい対策ソフトウェアです。仮想PCに対応した「Portshutter Premium V2」を販売開始しました。「Portshutter Premium」はWindows搭載の富士通法人向けパソコンにも標準搭載されています。

V2では新たに以下の機能を提供します。

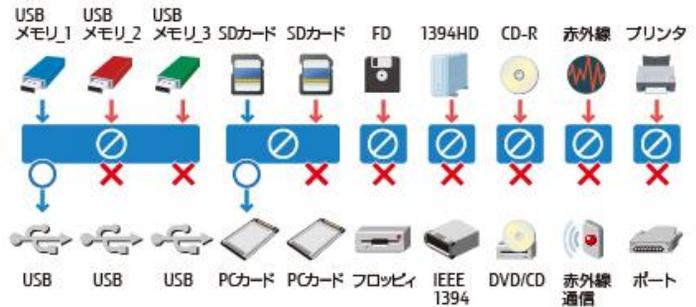
- 不正なUSBデバイス/PCカードが接続された時に証跡ログを出力します。
- 不正なワイヤレスネットワーク接続のアクセスポイント表示を制限します。
- Bluetoothを遮断していても特定の通信（HID/オーディオなど）のみを使用可能とします。
- 仮想PC環境（VMware）にインストールすることで、仮想PC内で使用するデバイスの制限をすることができます。

デバイス接続を遮断

デバイス制御

記憶媒体へのポートを遮断し使用制限

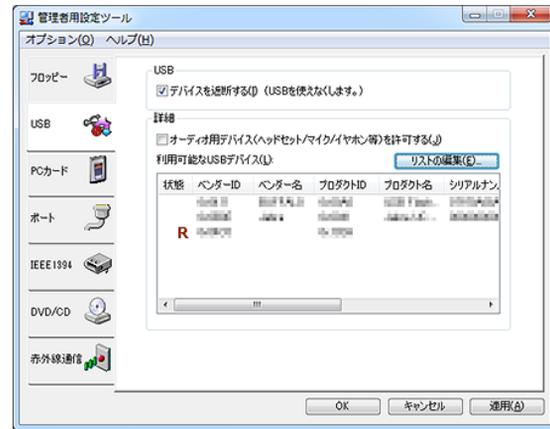
パソコンに接続する記憶媒体などのポートを遮断し、それぞれの使用を制限します。記憶媒体による情報の持ち出し・持ち込みを制限します。USB やPC カードは、許可していないデバイスが接続された時にイベントログに証跡ログを出力させることもできます。



▶ 簡単操作で記憶媒体への出口を個別に制御

デバイスの使用制限を簡単に指定

- デバイスの使用制限は「管理者用設定ツール」で簡単に指定できます。ドライブ（DVD、CD、フロッピーなど）、スロット（PCカード、Express Card、メモリーカードなど）、ポート（シリアル、パラレル、USB、IEEE1394、赤外線通信など）のすべてを遮断（ロック）することも、個別に使用制限することもできます。

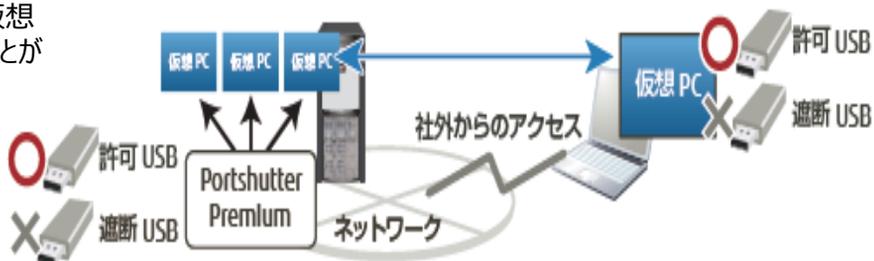


▶ USB 機器、PCカードは「機器」ごとに制御

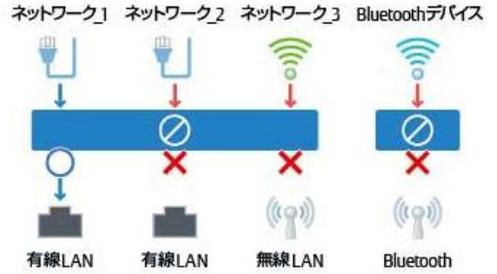
機器ごとに有効/無効/読み取り許可を設定

- USB およびPC カードデバイスは、「機器」ごとに制御できます。指定した特定メーカーの特定のUSB機器や、特定のハードウェアIDのPCカードしか利用できないように、使用制限できます。例えば、USB 接続のキーボードを許可しながらUSB メモリの使用を制限し、同時にUSB オーディオ機器を許可することもできます。
- また、DVD、CD、フロッピー、USB のストレージデバイスは、読み取りだけを許可することも可能です。
- 仮想PC環境にインストールすることで、仮想PC内で使用するデバイスの制限をすることができます。

※仮想PC環境はVMwareをサポートしています。



ネットワークとBluetoothを遮断し使用制限



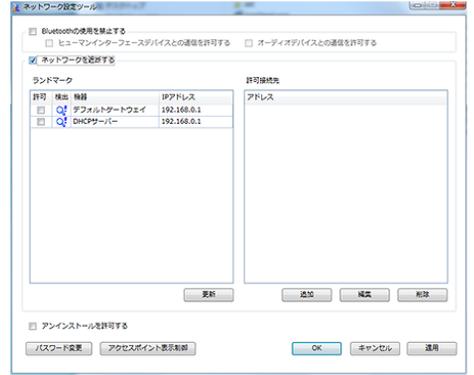
LANポートやBluetooth搭載機器とのペアリングを遮断（※）し、ネットワークの使用を制限します。登録したネットワーク以外での情報を持ち出し・持ち込みを制限します。

※Windows標準のドライバで動作するデバイスの場合、マウスやマイクなど一部の種類のBluetooth 機器だけを使用可能にすることもできます。

自動検出したパソコンのネットワーク設定をもとに制御

必要なネットワークのみ使用を許可

- ネットワーク全体を遮断後、自動検出したランドマーク（※）の一覧から、使用を許可したいネットワークに所属する機器を選択することでネットワーク使用の許可を設定します。
※ランドマークとは、社内ネットワークや部署のネットワークなど目印となる機器を指します。一覧は、パソコンに設定済みのインターネットプロトコルなどから自動検出した機器から作成されます。
- ワイヤレスネットワーク接続の一覧に表示させるアクセスポイントのネットワーク名を制限することが可能です。

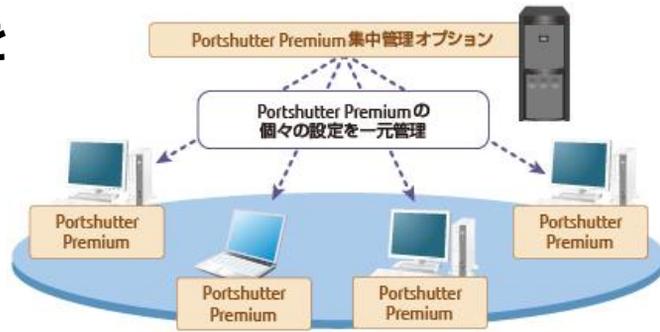


Portshutter Premium をサーバ上で一元管理

有償オプション

デバイスやネットワークの個々の設定を組織的に管理

集中管理オプション（有償）を利用すれば、ネットワーク上のサーバから各クライアントパソコンのPortshutter Premiumの設定を迅速かつ一括で行えます。管理の負荷が軽減され、設定ミスや設定もれなどを防ぐことができます。



※価格はすべて税抜きです。

商品体系と価格

■ Portshutter Premium 本体(必須) メディアパック

製品	価格
Portshutter Premium V2 メディアパック	5,000円

※Portshutter Premiumのインストールメディア商品です。
※本商品の使用にあたり、別途、必要数分のライセンスをご購入ください。

ライセンス(必要ライセンス購入)

ライセンス数	価格	仮想環境同時接続価格
1 ライセンス	3,600 円	3,900 円
50 ライセンス	170,000 円	185,000 円
100 ライセンス	320,000 円	351,000 円
200 ライセンス	600,000 円	663,000 円
500 ライセンス	1,400,000 円	1,560,000 円
1000 ライセンス	2,600,000 円	2,920,000 円
2000 ライセンス	4,400,000 円	5,070,000 円

※「メディアパック」のご購入は必須です。
※「メディアパック」と「ライセンス」を組み合わせ、必要なライセンス数をご購入ください。
※表に記載のないライセンス数は、製品Webサイトをご覧ください。

■ 年間プログラムサポート

ライセンスプログラムサポート数	価格
50 ライセンスプログラムサポート	25,500 円
100ライセンスプログラムサポート	48,000 円
200ライセンスプログラムサポート	90,000 円

※プログラムサポートをご購入いただけないお客様からは、ご購入後の製品に関する一切の質問をお受けすることができません。Portshutter Premium をお買い上げいただく際には、同時にプログラムサポートを購入いただくことを強く推奨いたします。
※プログラムサポートには「Portshutter Premium 集中管理オプション」のサポートも含まれます。

■ Portshutter Premium 集中管理オプション(任意) メディアパック

製品	価格
Portshutter Premium V2 集中管理オプション メディアパック	5,000円

※Portshutter Premium 集中管理オプションのインストールメディア商品です。
※本商品の使用にあたり、別途、必要数分のライセンスをご購入ください。

クライアントライセンス

クライアントライセンス数	価格
50 ライセンス	80,000 円
100 ライセンス	150,000 円
200 ライセンス	180,000 円
500 ライセンス	200,000 円
1000 ライセンス	300,000 円
2000 ライセンス	580,000 円

※Portshutter Premium 集中管理オプションはPortshutter Premium V1以降に対応していません。
※表に記載のないライセンス数は、製品Webサイトをご覧ください。

ライセンスプログラムサポート数	価格
500 ライセンスプログラムサポート	210,000 円
1000 ライセンスプログラムサポート	390,000 円
2000 ライセンスプログラムサポート	660,000 円

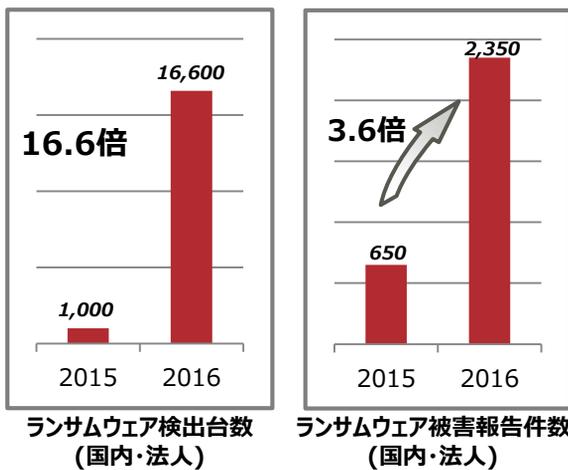
※年間プログラムサポートは、50ライセンス以上からのご契約となります。50ライセンス未満の場合、50ライセンスのご契約をお願いします。
※サポートサービスの詳細は、製品Webサイトをご覧ください。
※表に記載のないライセンス数は、製品Webサイトをご覧ください。

感染したパソコンをロックして操作不能にしたり、重要なファイルを暗号化したりする「ランサムウェア」による被害が、日本国内でも急増しています。ロック解除や暗号化されたファイルを復元すること引き換えに「身代金」を要求します。感染すると業務継続できないため、ビジネス活動に大きな影響を及ぼします。パソコンに限らず、病院や教育機関などの業務システムでの感染例も報告されています。ランサムウェアの対策について富士通のソリューションをご紹介します。

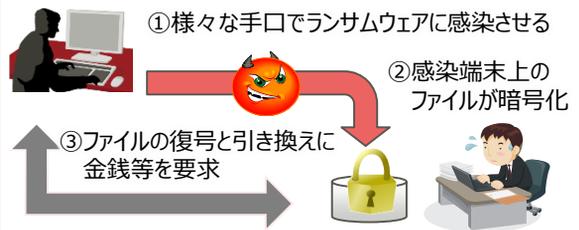
感染被害が急増しているランサムウェア

システムやデータを使用不能にして金銭を要求するランサムウェア攻撃の感染被害が今年に入り急増しています。主な感染経路は偽装メールの添付ファイルや改ざんされたWebサイト閲覧などになります。

ランサムウェアの被害が一年で急増



企業において業務が停止する恐れ

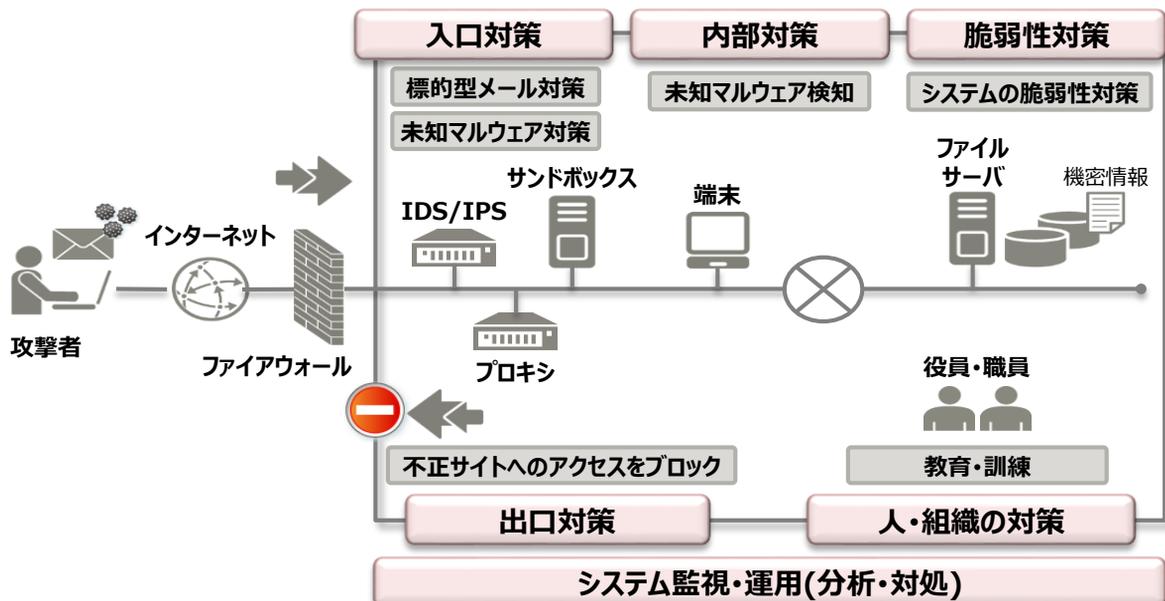


ランサムウェアは2種に大別されます

- ▶ 端末ロック型ランサムウェア [端末を人質]
画面ロックやアプリの強制終了などの手口で感染端末を操作不能にするタイプ
- ▶ 暗号化型ランサムウェア [データを人質]
感染端末内のデータやファイルサーバー上のデータを暗号化して使用不能にするタイプ

ランサムウェア対策の考え方

ランサムウェアもマルウェアの一種で感染経路も同じため、対策も他の不正プログラムと同様に標的型攻撃対策が有効です。攻撃の全体像を把握した上で、多層防御によりランサムウェアの侵入や感染を防ぎます。



サイバー攻撃の手法は年々巧妙になっており、ランサムウェアの確実なブロックは保証できません。ランサムウェア感染を前提に、業務への影響を最小限に抑えることがセキュリティマネジメントには必要です。最も効果的な方法は「バックアップ」です。復旧できる唯一の手段となりますので、バックアップ先が被害に遭わないようにすること、感染済のデータでバックアップを上書きしないよう、世代管理運用が重要となります。

ランサムウェア対策に有効なバックアップの考え方

復旧対策

① 業務影響を最小限に抑える

- クライアントPC全台数分のバックアップは有効ですが、大容量の確保やネットワーク負荷、管理面において多額のコストが掛かることを考慮する必要があります。
- PC内も含め社内に散在するデータを棚卸し、データの重要度/機密性に応じてデータを仕分ける。業務への影響がある重要なデータは、必ずPC以外に保存する運用を徹底し、バックアップ容量も削減する。

② ランサムウェアがアクセスできない場所に保存する

- ランサムウェアは、感染したPCだけでなく組織のネットワーク共有上のデータも暗号化する動作をします。仕分けした重要データの保存先も暗号化されるリスクがある為、バックアップソフト等を使用し、感染PCからアクセスできない場所（ネットワークから隔離されている）へのバックアップが求められます。
- ディザスタリカバリー観点のデータロスト防止策として、遠隔地（物理的に別の場所）へのバックアップも考慮します。

③ バックアップの世代管理でリスクを下げる

- ランサムウェア感染の発見が遅く、暗号化されてしまったデータをバックアップしてしまうリスクがあります。また、バックアップデータの中に、ランサムウェア自体が含まれていることも考えられます。
- 最新のデータだけでなく複数世代管理のバックアップを実施することで、感染の発見が遅れても希望するデータを復旧できる可能性が高くなります。
- より安全にリストアするべく、バックアップデータにマルウェアが含まれていないか確認します。
* マルウェアには多くの亜種が存在するため、全てのマルウェアの検出は保証されません。

複数世代管理バックアップ

